

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2015 年 8 月 6 日(06.08.2015)



(10) 国際公開番号
WO 2015/115035 A1

- (51) 国際特許分類:
G06Q 10/00 (2012.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2015/000134
- (22) 国際出願日: 2015 年 1 月 14 日(14.01.2015)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願 2014-013665 2014 年 1 月 28 日(28.01.2014) JP
- (71) 出願人: NECソリューションイノベータ株式会社(NEC SOLUTION INNOVATORS, LTD.) [JP/JP]; 〒1368627 東京都江東区新木場一丁目 1 8 番 7 号 Tokyo (JP).
- (72) 発明者: 川相 博義(KAWAI, Hiroyoshi); 〒1368627 東京都江東区新木場一丁目 1 8 番 7 号 NECソリューションイノベータ株式会社内 Tokyo (JP).
- (74) 代理人: 下坂 直樹(SHIMOSAKA, Naoki); 〒1088001 東京都港区芝五丁目 7 番 1 号日本電気株式会社内 Tokyo (JP).

- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, JP, KE, KG, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

— 国際調査報告 (条約第 21 条(3))

(54) Title: SOCIAL NETWORK SERVER, SCREEN DISPLAY METHOD, AND RECORDING MEDIUM

(54) 発明の名称: ソーシャルネットワークサーバ、画面表示方法および記録媒体

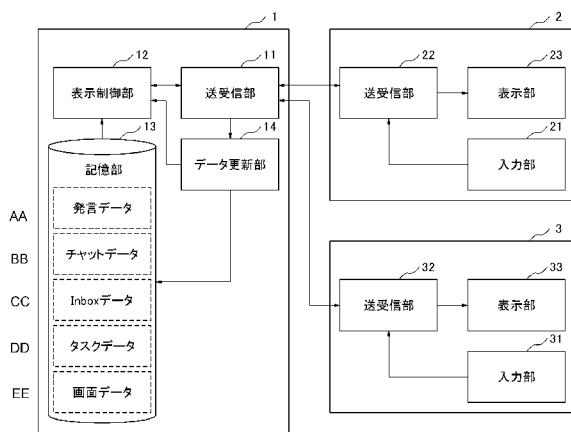


FIG. 1:
11, 22, 32 Transmission and reception unit
12 Display control unit
13 Storage unit
14 Data updating unit
21, 31 Input unit
23, 33 Display unit
AA Comment data
BB Chat data
CC Inbox data
DD Task data
EE Screen data

(57) Abstract: One's own tasks are determined from exchanges and memos between individuals in an organization, and are centrally managed together with tasks requested by other individuals. A server (1a) is provided with: a data updating unit (14a) which acquires subset information identifying users and members, message information input by the users and the members belonging to a subset, memo information input by the users, first task-request information representing task requests from the members to the users, and selected information selected by the users from messages, and which transmits the message information to member terminals of all members belonging to the subset; and a display control unit (12a) which delivers to user terminals and the member terminals a display screen containing a first display region in which the message information input by the users and the members belonging to the subset is displayed, and a second display region in which the memo information, the first task-request information and the selected information are displayed.

(57) 要約:

[続葉有]



組織内の構成員同士のやり取りやメモから自らのタスクを決定し、他の構成員から依頼されたタスクと共に一元管理する。サーバ 1 a は、ユーザおよびメンバを識別する部分集合情報、部分集合に属するユーザおよびメンバが入力したメッセージ情報、ユーザが入力したメモ情報、メンバからユーザへのタスクの依頼を示す第 1 タスク依頼情報、メッセージのうちユーザが選択した選択情報を取得し、メッセージ情報を、部分集合に属するすべてのメンバのメンバ端末に送信するデータ更新部 1 4 a と、部分集合に属するユーザおよびメンバが入力したメッセージ情報を表示する第 1 表示領域と、メモ情報と第 1 タスク依頼情報と選択情報とを表示する第 2 表示領域と、を含む表示画面をユーザ端末およびメンバ端末に提示する表示制御部 1 2 a を備える。

明 細 書

発明の名称：

ソーシャルネットワークサーバ、画面表示方法および記録媒体

技術分野

[0001] 本発明は、組織内でソーシャルネットワークを構築するソーシャルネットワークサーバ、画面表示方法および記録媒体等に関する。

背景技術

[0002] 現在、企業向けのソーシャルネットワーキングサービス（以下、SNSと記載）は、企業文化の変革やイノベーション創出などを目的に、様々な企業で認知され、且つ、活用されはじめている。

[0003] 特許文献1は、SNSの画面を会員が利用する端末に表示させる画面表示制御システムを開示する。このシステムは、画面の表示領域全体を2以上の区画に分割し、一の区画を全体表示領域とし、他の1以上の区画を詳細表示領域とする。このシステムは、所定の表示対象を全体表示領域に一覧表示させ、一覧表示中のデータが特定された場合、この特定されたデータに関連するデータを詳細表示領域に表示させる。

[0004] 特許文献2は、メッセージを蓄積するツイッター管理サーバをキーワード検索し、検索したメッセージを所定の絵柄とともに所定の第1の時間を掛けて時系列順に表示するメッセージ表示システムを開示する。

[0005] 特許文献3は、OS（オペレーティングシステム）のタスクに常駐するソフトで実行される承認システムを開示する。この承認システムは、クライアントはネットワークを介しサーバと接続しているPC（パーソナルコンピュータ）の画面上では、承認依頼があるときに承認アイコンがタスクバーまたは、デスクトップに表示し、承認者が承認アイコンをクリックすることで承認画面を表示し、承認作業を行う。

[0006] 特許文献4は、チャット機能、知識記述式白板機能、アクティブマトリクス機能、及び、アプリケーション共有機能を備えるコラボレーションシステ

ムを開示する。このシステムでは、これらの機能を使用して行われたコラボレーションの履歴を設計可能なタグ付け言語により構造化して記録する。

[0007] 特許文献5は、備忘録機能を開示する。この機能は、パーソナルコンピュータの画面上に備忘録アイコンを常駐させ、該備忘録アイコンがクリックされると、備忘録ウィンドウを開いて前記画面上に表示させるとともに入力モードに移行する。

先行技術文献

特許文献

[0008] 特許文献1：特開2013-149187号公報

特許文献2：特開2012-160111号公報

特許文献3：特開2007-226730号公報

特許文献4：特開2005-258937号公報

特許文献5：特開平09-305346号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0009] 特許文献1～5で開示される技術では、企業のような複数の構成員が属する組織内で、構成員同士のやり取りや、構成員が記載したメモから自らの遂行すべき業務であるタスクを決定し、他の構成員から依頼されたタスクと共に一元管理することはできない。

[0010] 上記問題点を鑑み、本発明は、複数の構成員が属する組織内で、自らのタスクと、他の構成員から依頼されたタスクと共に一元管理することを主たる目的とする。

課題を解決するための手段

[0011] 本発明の第1の観点に係るソーシャルネットワークサーバは、

ソーシャルネットワークの着目する構成員であるユーザが使用するユーザ端末とユーザ以外の構成員である1人以上のメンバが使用するメンバ端末とにソーシャルネットワークの表示画面を表示するソーシャルネットワークシ

システムを制御するサーバであって、

ソーシャルネットワークの構成員の任意の部分集合に属するユーザおよびメンバを識別する部分集合情報と、

部分集合に属するユーザおよびメンバが入力したメッセージを示すメッセージ情報と、

ユーザが入力したメモを示すメモ情報と、

メンバからユーザへのタスクの依頼を示す第 1 タスク依頼情報と、

ユーザおよびメンバが入力したメッセージのうちユーザが選択したメッセージを示す選択情報と、を取得し、

ユーザが入力したメッセージを示すメッセージ情報を、部分集合に属するすべてのメンバのメンバ端末に送信する、データ更新手段と、

部分集合に属するユーザおよびメンバが入力したメッセージを示すメッセージ情報を表示する第 1 表示領域と、メモ情報と第 1 タスク依頼情報と選択情報とを表示する第 2 表示領域と、を含む表示画面をユーザ端末およびメンバ端末に提示する表示制御手段

とを備え、

データ更新手段は、

第 2 表示領域に表示されたメモ情報、選択情報および第 1 タスク依頼情報の中からユーザが自らのタスクとして選択した情報をユーザのタスクデータとして取得し、

第 2 表示領域に表示されたメモ情報、選択情報および第 1 タスク依頼情報の中からユーザがメンバのタスクとして選択した情報を当該メンバへのタスクの依頼として取得し、

メンバへのタスクの依頼を示す第 2 タスク依頼情報を当該メンバのメンバ端末に送信し、

表示画面は、ユーザのタスクデータを表示する第 3 表示領域を含む、
ソーシャルネットワークサーバである。

[0012] 本発明の第 2 の観点に係る画面表示方法は、

ソーシャルネットワークの着目する構成員であるユーザが使用するユーザ端末とユーザ以外の構成員である１人以上のメンバが使用するメンバ端末とにソーシャルネットワークの表示画面を表示するソーシャルネットワークシステムを制御する方法であって、

ソーシャルネットワークの構成員の任意の部分集合に属するユーザおよびメンバを識別する部分集合情報と、

部分集合に属するユーザおよびメンバが入力したメッセージを示すメッセージ情報と、

ユーザが入力したメモを示すメモ情報と、

メンバからユーザへのタスクの依頼を示す第１タスク依頼情報と、

ユーザおよびメンバが入力したメッセージのうちユーザが選択したメッセージを示す選択情報と、を取得し、

ユーザが入力したメッセージを示すメッセージ情報を、部分集合に属するすべてのメンバのメンバ端末に送信し、

部分集合に属するユーザおよびメンバが入力したメッセージを示すメッセージ情報を表示する第１表示領域と、メモ情報と第１タスク依頼情報と選択情報とを表示する第２表示領域と、を含む表示画面をユーザ端末およびメンバ端末に提示し、

取得に際しては、

第２表示領域に表示されたメモ情報、選択情報および第１タスク依頼情報の中からユーザが自らのタスクとして選択した情報をユーザのタスクデータとして取得し、

第２表示領域に表示されたメモ情報、選択情報および第１タスク依頼情報の中からユーザがメンバのタスクとして選択した情報を当該メンバへのタスクの依頼として取得し、

送信に際しては、

メンバへのタスクの依頼を示す第２タスク依頼情報を当該メンバのメンバ端末に送信し、

表示画面には、ユーザのタスクデータを表示する第3表示領域を含める、画像表示方法である。

[0013] 本発明の第3の観点に係る記録媒体は、

ソーシャルネットワークの着目する構成員であるユーザが使用するユーザ端末とユーザ以外の構成員である1人以上のメンバが使用するメンバ端末とにソーシャルネットワークの表示画面を表示するソーシャルネットワークシステムを制御するコンピュータに、

ソーシャルネットワークの構成員の任意の部分集合に属するユーザおよびメンバを識別する部分集合情報と、

部分集合に属するユーザおよびメンバが入力したメッセージを示すメッセージ情報と、

ユーザが入力したメモを示すメモ情報と、

メンバからユーザへのタスクの依頼を示す第1タスク依頼情報と、

ユーザおよびメンバが入力したメッセージのうちユーザが選択したメッセージを示す選択情報と、を取得し、

ユーザが入力したメッセージを示すメッセージ情報を、部分集合に属するすべてのメンバのメンバ端末に送信する機能と、

部分集合に属するユーザおよびメンバが入力したメッセージを示すメッセージ情報を表示する第1表示領域と、メモ情報と第1タスク依頼情報と選択情報とを表示する第2表示領域と、を含む表示画面をユーザ端末およびメンバ端末に提示する機能と

を実行させ、

送信する機能は更に、

第2表示領域に表示されたメモ情報、選択情報および第1タスク依頼情報の中からユーザが自らのタスクとして選択した情報をユーザのタスクデータとして取得し、

第2表示領域に表示されたメモ情報、選択情報および第1タスク依頼情報の中からユーザがメンバのタスクとして選択した情報を当該メンバへのタ

スクの依頼として取得し、

メンバへのタスクの依頼を示す第2タスク依頼情報を当該メンバのメンバ端末に送信する機能を含み、

表示画面には、ユーザのタスクデータを表示する第3表示領域を含める、プログラムを格納する記録媒体である。

発明の効果

[0014] 本発明によれば、複数の構成員が属する組織内で、自らのタスクと、他の構成員から依頼されたタスクと共に一元管理することができる。

図面の簡単な説明

[0015] [図1]本発明の第1の実施形態に係るソーシャルネットワークシステムの構成例を示す図である。

[図2]本発明の第1の実施形態に係る発言データの構造の一例を示す図である。

[図3]本発明の第1の実施形態に係るチャットデータの構造の一例を示す図である。

[図4]本発明の第1の実施形態に係るInboxデータの構造の一例を示す図である。

[図5A]本発明の第1の実施形態に係るタスク管理データの構造の一例を示す図である。

[図5B]本発明の第1の実施形態に係るユーザタスクデータの構造の一例を示す図である。

[図6]本発明の第1の実施形態に係るソーシャルネットワークの表示画面の一例を示す図である。

[図7]本発明の第1の実施形態に係るポップアップアイコンの一例を示す図である。

[図8]本発明の第1の実施形態に係るMyFeed画面の表示処理の動作の一例を示すフローチャートである。

[図9]本発明の第1の実施形態に係るWatchFeed画面の表示処理の動

作の一例を示すフローチャートである。

[図10]本発明の第1の実施形態に係るInbox画面の表示処理の動作の一例を示すフローチャートである。

[図11]本発明の第1の実施形態に係るMyTask画面の表示処理の動作の一例を示すフローチャートである。

[図12]本発明の第1の実施形態に係るGroupChat画面の表示処理の動作の一例を示すフローチャートである。

[図13]本発明の第1の実施形態に係るサーバのハードウェア構成の一例を示すブロック図である。

[図14]本発明の第2の実施形態に係るソーシャルネットワークサーバの構成例を示す図である。

発明を実施するための形態

[0016] <第1の実施形態>

以下、本発明を実施するための第1の実施形態について図面を参照して詳細に説明する。なお図中、同一または相当部分には同じ符号を付す。本実施形態では、組織内のソーシャルネットワーク（以下SNと略す）に属する構成員のうち、着目する構成員をユーザと呼び、ユーザ以外の構成員をメンバと呼ぶ。また、SNの構成員全員が閲覧可能に処理されるメッセージを発言といい、SN内で任意に設定されたグループに属する構成員にのみ閲覧可能に処理されるメッセージのやり取りをチャットという。

[0017] 図1は、本発明の第1の実施形態に係るソーシャルネットワークシステムの構成例を示す図である。ソーシャルネットワークシステム100は、サーバ1とユーザ端末2とメンバ端末3とで構成される。ユーザ端末2とメンバ端末3は、同様の構成である。メンバ端末3は代表して1台で記載しているが、2台以上であってもよい。

[0018] ユーザ端末2は、入力部21、送受信部22および表示部23を備える。

[0019] 入力部21は、ユーザから入力を受け付ける。ユーザが入力部21にサーバ1にアクセスするためにログイン情報を入力すると、入力部21は、ログ

イン情報を送受信部 2 2 に送る。

[0020] 送受信部 2 2 は、入力部 2 1 から受け取ったログイン情報をサーバ 1 に送信する。

[0021] サーバ 1 は、対話エージェント処理等を行う一般的なチャットサーバ機能を備えたサーバであり、送受信部 1 1（送受信手段）、表示制御部 1 2（表示制御手段）、記憶部 1 3 およびデータ更新部 1 4（データ更新手段）を備える。

[0022] 送受信部 1 1 は、ユーザ端末 2 からログイン情報を受信すると、受信したログイン情報を表示制御部 1 2 に送る。

[0023] 表示制御部 1 2 は、ログイン情報を受け取ると、記憶部 1 3 が記憶する発言データ、チャットデータ、I n b o x データ、タスクデータおよび画面データから、S N の表示画面を生成し、送受信部 1 1 に送る。画面データは、S N の表示画面の様式やアイコンなどを示すデータである。発言データ、チャットデータ、I n b o x データおよびタスクデータの詳細は後述する。

[0024] 送受信部 1 1 は、表示制御部 1 2 から受け取った S N の表示画面をユーザ端末 2 に送信する。

[0025] 表示制御部 1 2 は、ログイン情報に基づいて、ログインを許可するか否かを判定してもよい。この場合、表示制御部 1 2 は、ログインを許可するときには、S N の表示画面を、送受信部 1 1 を介してユーザ端末 2 に送信し、ログインを許可しないときには、ログイン不可であることを示す情報を、送受信部 1 1 を介してユーザ端末 2 に送信する。

[0026] ユーザ端末 2 の送受信部 2 2 は、サーバ 1 から S N の表示画面を受信すると表示部 2 3 に送る。

[0027] 表示部 2 3 は、S N の表示画面を表示する。

[0028] 表示部 2 3 に S N の表示画面が表示されると、ユーザは入力部 2 1 にメンバに対する発言を入力することができる。入力部 2 1 は、入力された発言を示す発言データを、送受信部 2 2 を介してサーバ 1 に送信する。また、ユーザは入力部 2 1 に S N 内で任意に設定された自らが属するグループ内のメン

バに対するメッセージを入力することができる。入力部 2 1 は、入力されたメッセージを示すチャットデータを、送受信部 2 2 を介してサーバ 1 に送信する。

[0029] サーバ 1 の送受信部 1 1 は、ユーザ端末 2 から発言データおよびチャットデータを受信すると、データ更新部 1 4 に送る。

[0030] データ更新部 1 4 は、送受信部 1 1 から受け取った発言データおよびチャットデータを記憶部 1 3 に記憶する。

[0031] サーバ 1 の表示制御部 1 2 は、記憶部 1 3 に発言データが記憶されると、すべてのメンバに各々対応するメンバ端末 3 に、送受信部 1 1 を介して発言データを送信する。メンバ端末 3 の送受信部 3 2 は、サーバ 1 から発言データを受信すると、表示部 3 3 に送る。表示部 3 3 は、送受信部 3 2 から発言データを受け取ると、S N の表示画面の所定の表示領域に発言データを表示する。

[0032] サーバ 1 の表示制御部 1 2 は、記憶部 1 3 にチャットデータが記憶されると、当該グループに属するメンバのメンバ端末 3 に、送受信部 1 1 を介してチャットデータを送信する。メンバ端末 3 の送受信部 3 2 は、サーバ 1 からチャットデータを受信すると、表示部 3 3 に送る。表示部 3 3 は、送受信部 3 2 からチャットデータを受け取ると、S N の表示画面の所定の表示領域にチャットデータを表示する。

[0033] 同様に、ユーザ端末 2 の表示部 2 3 が表示する S N の表示画面の所定の表示領域には、メンバが入力した発言データおよびチャットデータが表示される。また、ユーザが入力部 2 1 に入力した発言データおよびチャットデータも一緒に表示される。

[0034] ユーザは S N の表示画面に表示された発言データおよびチャットデータから、任意の発言データおよびチャットデータを選択し、選択したことを入力部 2 1 に入力することができる。入力部 2 1 は、選択された発言データおよびチャットデータを示す選択情報を、送受信部 2 2 を介してサーバ 1 に送信する。

- [0035] また、ユーザは入力部 2 1 に任意のメッセージを入力することができる。
入力部 2 1 は、入力されたメモを示すメモ情報を、送受信部 2 2 を介してサーバ 1 に送信する。
- [0036] サーバ 1 の送受信部 1 1 は、ユーザ端末 2 から選択情報およびメモ情報を受信すると、データ更新部 1 4 に送る。
- [0037] データ更新部 1 4 は、送受信部 1 1 から受け取った選択情報およびメモ情報をユーザの `inbox` データとして記憶部 1 3 に記憶する。
- [0038] メンバはユーザにタスクを依頼したいとき、メンバ端末 3 の入力部 3 1 にユーザに対するタスク依頼を入力する。入力部 3 1 は、入力されたユーザに対するタスク依頼を示すユーザ宛のタスク依頼情報を、送受信部 3 2 を介してサーバ 1 に送信する。
- [0039] サーバ 1 の送受信部 1 1 は、メンバ端末 3 からユーザ宛のタスク依頼情報を受信すると、データ更新部 1 4 に送る。
- [0040] データ更新部 1 4 は、送受信部 1 1 から受け取ったユーザ宛のタスク依頼情報をユーザの `inbox` データとして記憶部 1 3 に記憶する。
- [0041] サーバ 1 の表示制御部 1 2 は、記憶部 1 3 にユーザの `inbox` データが記憶されると、送受信部 1 1 を介してユーザの `inbox` データをユーザ端末 2 に送信する。ユーザ端末 2 の送受信部 2 2 は、サーバ 1 から `inbox` データを受信すると、表示部 2 3 に送る。表示部 2 3 は、送受信部 2 2 から `inbox` データを受け取ると、`SN` の表示画面の所定の表示領域に `inbox` データを表示する。
- [0042] ユーザは `SN` の表示画面に表示された `inbox` データから、任意の `inbox` データを自らのタスクとして選択し、タスクとして選択したことを入力部 2 1 に入力することができる。入力部 2 1 は、選択された `inbox` データを示すタスク選択情報を、送受信部 2 2 を介してサーバ 1 に送信する。
また、ユーザは入力部 2 1 に自らのタスクを入力することができる。入力部 2 1 は、入力されたユーザのタスクを示すタスク入力情報を、送受信部 2 2 を介してサーバ 1 に送信する。

- [0043] また、ユーザは、ＳＮの表示画面に表示されたＩｎｂｏｘデータのうち、ユーザ宛のタスク依頼情報に対しては、承認、拒否、依頼変更の内のいずれかの応答を入力部２１に入力することができる。
- [0044] ユーザ宛のタスク依頼情報に対する応答が承認である場合、入力部２１は、ユーザが当該タスクを承認したことを示すタスク承認情報を、送受信部２２を介してサーバ１に送信する。
- [0045] ユーザ宛のタスク依頼情報に対する応答が拒否である場合、入力部２１は、ユーザが当該タスクを拒否したことを示すタスク拒否情報を、送受信部２２を介してサーバ１に送信する。
- [0046] ユーザ宛のタスク依頼情報に対する応答が依頼変更である場合、ユーザは、入力部２１に依頼変更の応答と共に当該タスクを依頼する他のメンバを識別する識別子（Identification、以下「ＩＤ」と記載）を入力する。入力部２１は、当該タスクを他のメンバに依頼することを示す他のメンバ宛のタスク依頼情報を、送受信部２２を介してサーバ１に送信する。
- [0047] サーバ１の送受信部１１は、ユーザ端末２からタスク承認情報、タスク拒否情報および他のメンバ宛のタスク依頼情報を受信すると、データ更新部１４に送る。
- [0048] データ更新部１４は、送受信部１１から受け取ったタスク承認情報をユーザのタスクデータとして記憶部１３に記憶する。データ更新部１４は、送受信部１１から受け取った他のメンバ宛のタスク依頼情報を、当該他のメンバのＩｎｂｏｘデータとして記憶部１３に記憶する。
- [0049] データ更新部１４は、送受信部１１から受け取ったタスク承認情報、タスク拒否情報、および、他のメンバ宛のタスク依頼情報に基づいて、記憶部１３が記憶するタスクデータを更新する。
- [0050] データ更新部１４がタスク承認情報に基づいてタスクデータを更新すると、表示制御部１２は、当該タスク依頼が承認されたことを通知する承認通知データを依頼元のメンバのメンバ端末３に送受信部１１を介して送信する。データ更新部１４がタスク拒否情報に基づいてタスクデータを更新すると、

表示制御部 12 は、当該タスク依頼が拒否されたことを通知する拒否通知データを依頼元のメンバのメンバ端末 3 に送受信部 11 を介して送信する。

[0051] また、データ更新部 14 が、ユーザがメンバから依頼されたタスクをさらに他のメンバに依頼したことを示す他のメンバ宛のタスク依頼情報に基づいてタスクデータを更新したとする。このとき、表示制御部 12 は、当該タスクの依頼先が変更されたことを通知する依頼変更通知データを依頼元のメンバのメンバ端末 3 に送受信部 11 を介して送信する。

[0052] サーバ 1 の表示制御部 12 は、記憶部 13 にユーザのタスクデータが記憶されると、ユーザ端末 2 に、送受信部 11 を介してタスクデータを送信する。ユーザ端末 2 の送受信部 22 は、サーバ 1 からタスクデータを受信すると、表示部 23 に送る。表示部 23 は、送受信部 22 からタスクデータを受け取ると、S N の表示画面の所定の表示領域にタスクデータを表示する。

[0053] ユーザは S N の表示画面に表示された l n b o x データから、任意の l n b o x データをメンバに対するタスク依頼として選択し、依頼するメンバを識別する I D と共に入力部 21 に入力することができる。前述のように、ユーザ宛のタスク依頼情報である l n b o x データをさらに他のメンバに対するタスク依頼として選択する場合には、当該 l n b o x データのタスク依頼に対する応答を「依頼変更」とし、依頼する他のメンバを識別する I D を入力する。入力部 21 は、入力されたメンバに対するタスク依頼を示すメンバ宛のタスク依頼情報を、送受信部 22 を介してサーバ 1 に送信する。

[0054] サーバ 1 の送受信部 11 は、ユーザ端末 2 からメンバ宛のタスク依頼情報を受信すると、データ更新部 14 に送る。

[0055] データ更新部 14 は、送受信部 11 から受け取ったメンバ宛のタスク依頼情報を、当該メンバの l n b o x データとして記憶部 13 に記憶する。

[0056] ユーザは、発言データ、チャットデータ、l n b o x データおよびタスクデータから条件に合致するデータを抽出するための条件を入力部 21 に入力することができる。入力部 21 は、ユーザが入力した条件を示す条件情報を、送受信部 22 を介してサーバ 1 に送信する。条件は、1 以上の文字列であ

ってもよいし、複数の文字列のAND（論理積）条件、OR（論理和）条件、NOT（否定）条件またはそれらの組み合わせであってもよい。

[0057] サーバ1の送受信部11は、ユーザ端末2から条件情報を受信すると、データ更新部14に送る。

[0058] データ更新部14は、送受信部11から受け取った条件情報が示す条件に合致するデータを記憶部13が記憶する発言データ、チャットデータ、inboxデータおよびタスクデータから抽出する。データ更新部14は、条件に合致するデータを示す抽出情報を表示制御部12に送る。表示制御部12は、データ更新部14から受け取った抽出情報を、送受信部11を介してユーザ端末2に送信する。

[0059] ユーザ端末2の送受信部22は、サーバ1から抽出情報を受信すると、表示部23に送る。表示部23は、送受信部22から抽出情報を受け取ると、SNの表示画面の所定の表示領域に抽出情報を表示する。

[0060] ここで、記憶部13が記憶する各種データについて説明する。

[0061] 図2は、第1の実施形態に係る発言データの構造の一例を示す図である。発言データは、「発言ID」と、「発言日時」と、「ユーザID」と、「宛先ID」と、「発言」と、「返信先発言ID」とで構成される。

[0062] 「発言ID」は、発言を識別するIDである。「発言日時」は、発言を入力した日時を示す。「ユーザID」は、発言を入力したユーザを識別するIDである。「宛先ID」は、発言の宛先となるメンバを識別するIDである。「発言」は、発言の内容を示す。「返信先発言ID」は、発言が返信である場合の返信先の発言を識別するIDである。

[0063] 例えば、ユーザが発言の最初に@を付けてメンバを識別するIDを入力すると、当該メンバが宛先として設定される。ユーザが宛先を設定せずに発言した場合には、「宛先ID」は全メンバを示す値が入力される。また、ユーザの発言が返信でない場合は、「返信先発言ID」には何も入力されない。

[0064] サーバ1の表示制御部12は、記憶部13に図2に示すような発言データが記憶されると、すべてのメンバのメンバ端末3に、送受信部11を介して

発言データを送信する。発言データの「宛先ID」に発言の宛先となるメンバを識別するIDが入っている場合には、当該メンバのメンバ端末3の表示部33は、SNの表示画面に発言データを表示すると共に、当該メンバに対する発言であることを通知する表示をするとよい。通知方法はアイコンの強調表示や、音声の出力など、メンバが自分宛てのメッセージであることを認知できる方法であればよい。通知しない構成にする場合には、発言データは項目「宛先ID」を含まなくてもよい。

[0065] 図3は、第1の実施形態に係るチャットデータの構造の一例を示す図である。チャットデータは、「グループID」と、「メッセージID」と、「入力日時」と、「ユーザID」と、「宛先ID」と、「メッセージ」とで構成される。

[0066] 「グループID」は、グループに属するユーザおよびメンバを識別するIDである。「メッセージID」は、メッセージを識別するIDである。「入力日時」は、メッセージを入力した日時を示す。「ユーザID」は、メッセージを入力したユーザを識別するIDである。「宛先ID」は、メッセージの宛先となるメンバを識別するIDである。「メッセージ」は、メッセージの内容を示す。

[0067] 例えば、ユーザがメッセージの最初に@を付けてメンバを識別するIDを入力すると、当該メンバが宛先として設定される。ユーザが宛先を設定せずにメッセージを入力した場合には、「宛先ID」はグループに属する全メンバを示す値となる。ユーザとメンバの1対1のチャットである場合には、「グループID」には、ユーザおよび相手メンバを識別するIDが入力される。

[0068] サーバ1の表示制御部12は、記憶部13に図3に示すようなチャットデータが記憶されると、当該グループに属するメンバのメンバ端末3に、送受信部11を介してチャットデータを送信する。チャットデータの「宛先ID」にメッセージの宛先となるメンバを識別するIDが入っている場合には、当該メンバのメンバ端末3の表示部33は、SNの表示画面にチャットデー

タを表示すると共に、当該メンバに対するメッセージであることを通知する表示をするとよい。通知方法はアイコンの強調表示や、音声の出力など、メンバが自分宛てのメッセージであることを認知できる方法であればよい。通知しない構成にする場合には、チャットデータは項目「宛先ID」を含まなくてもよい。

[0069] 図4は、第1の実施形態に係るInboxデータの構造の一例を示す図である。Inboxデータは、ユーザを識別する「ユーザID」と、Inboxデータを識別する「InboxID」と、Inboxデータとして記憶された各種情報を示す「選択情報／メモ情報／ユーザ宛のタスク依頼情報」とで構成される。

[0070] 記憶部13が記憶するタスクデータは、タスク管理データと、ユーザタスクデータとを含む。

[0071] 図5Aは、第1の実施形態に係るタスク管理データの構造の一例を示す図である。図5Bは、第1の実施形態に係るユーザタスクデータの構造の一例を示す図である。

[0072] タスク管理データは、「タスクID」と、「依頼元ID」と、「依頼先ID」と、「タスク」と、「状態」と、で構成される。「タスクID」は、タスクを識別するIDである。「依頼元ID」は、タスクの依頼元のユーザまたはメンバを識別するIDである。「依頼先ID」は、タスクの依頼先のユーザまたはメンバを識別するIDである。「タスク」は、タスクの内容を示す。「状態」は、タスクが承認されたか、拒否されたか、或いは、保留されているかを示す。

[0073] サーバ1のデータ更新部14は、送受信部11がユーザ端末2からタスク承認情報を受信した場合には、当該タスクデータの項目「状態」に承認を入力する。このとき、表示制御部12は、依頼元のメンバのメンバ端末3に送受信部11を介して承認通知データを送信する。データ更新部14は、送受信部11がユーザ端末2からタスク拒否情報を受信した場合には、当該タスクデータの項目「状態」に拒否を入力する。このとき、表示制御部12は、

依頼元のメンバのメンバ端末3に送受信部11を介して拒否通知データを送信する。

[0074] データ更新部14が、ユーザ端末2から、他のメンバ宛のタスク依頼情報を受信したとする。他のメンバ宛のタスク依頼情報は、ユーザ端末2に紐付けられるユーザに対して、あるメンバが依頼したタスクを、ユーザがさらに他のメンバに依頼したことを示している。この場合には、データ更新部14は、当該タスクデータの内の項目「依頼先ID」を、ユーザを識別するIDから当該他のメンバを識別するIDに変更する。このとき、表示制御部12は、依頼元のメンバのメンバ端末3に送受信部11を介して依頼変更通知データを送信する。

[0075] なお、ユーザはタスクを遂行すると、タスクが完了したことを示すタスク完了情報をユーザ端末2の入力部21に入力し、送受信部22はタスク完了情報をサーバ1に送信してもよい。この場合、タスクデータの項目「状態」はタスクが完了したことを示す完了を含む。サーバ1のデータ更新部14は、送受信部11がタスク完了情報を受信すると、当該タスクデータの項目「状態」を完了に設定する。表示制御部12は、当該タスクが完了したことを通知する完了通知データを依頼元であるメンバのメンバ端末3に送受信部11を介して送信する。

[0076] ユーザタスクデータは、ユーザを識別する「ユーザID」とタスクを識別する「タスクID」とユーザのタスクデータとして記憶された各種情報を示す「タスク選択情報／タスク入力情報／タスク承認情報」とで構成される。

[0077] 図6は、第1の実施形態に係るSNの表示画面の一例を示す図である。SNの表示画面は、「マイフィード(MyFeed)」画面と、「ウォッチフィード(WatchFeed)」画面と、「グループチャット(GroupChat)」画面と、「インボックス(Inbox)」画面と、「マイタスク(MyTask)」画面と、で構成される。

[0078] 「MyFeed」には、SNに属するユーザおよびメンバのすべての発言データが表示される。「WatchFeed」には、入力された検索ワード

に合致する発言データが表示される。「GroupChat」には、グループに属するユーザおよびメンバのチャットデータが表示される。

[0079] 「Inbox」には、Inboxデータが表示される。Inboxデータとは、MyFeedやWatchFeedからユーザが選択した発言データ、GroupChatからユーザが選択したチャットデータを示す選択情報、ユーザが入力したメモを示すメモ情報、ユーザ宛のタスク依頼情報等である。「MyTask」には、ユーザタスクデータが表示される。ユーザタスクデータとは、Inboxから自らのタスクとしてユーザが選択したInboxデータを示すタスク選択情報、ユーザが入力したタスクを示すタスク入力情報、および、ユーザが承認したタスクを示すタスク承認情報等である。SNの表示画面を構成するこれらの構成要素を以下、カラムという。

[0080] 図6の例では、これらのカラム以外に、SNに属する構成員のコンタクトリストである「ContactList」と、設定されたグループのリストである「GroupList」とを表示している。

[0081] 「MyFeed」、「WatchFeed」および「GroupChat」はタイムラインで表示される。「Inbox」および「MyTask」はタイムラインで表示してもよいし、ユーザが設定した順序で表示してもよい。

[0082] カラムはSNの表示画面上で並列表示される。「MyFeed」は必ず表示するが、その他のカラムは表示／非表示を選択可能にしてもよい。カラムの表示領域の上部に各カラムのアイコンA1～A5が表示されており、このアイコンの位置をドラッグで入れ替えることにより、カラムの順序を入れ替えることができる。

[0083] 図6に示す例では、アイコンA1～A5は、それぞれ、「MyFeed」、「WatchFeed」、「Inbox」、「MyTask」および「GroupChat」に対応する。アイコンA6は、カラムを追加するアイコンである。ユーザがアイコンA6をクリックすると、カラムが追加される。図6に示す例では、追加可能なカラムは「WatchFeed」と「Gro

u p C h a t」である。

[0084] 各カラムの表示領域の最上部にカラムの名称が表示されており、その下に入力ボックスが表示されている。入力ボックスには、文字を入力することが可能である。

[0085] 「M y F e e d」の入力ボックスにユーザが入力して発言すると、S Nに属するユーザおよびメンバ全員の「M y F e e d」にユーザの発言が表示される。「M y F e e d」には、S Nに属するユーザおよびメンバ全員の発言がタイムラインで表示される。また、発言データに返信先発言IDが含まれる場合には、返信先の発言に紐付けて、当該発言に対する返信として表示する。返信の表示方法は、例えばスレッド表示などがある。

[0086] 「W a t c h F e e d」には、「M y F e e d」に表示された発言のうち、自分のIDを含む発言のみがタイムラインで表示される。図6の「W a t c h F e e d」画面の例では、キーワード「@ u s e r A」を文中に含む発言のみがタイムラインで表示されている。

[0087] ユーザが「G r o u p L i s t」からグループを選択し、「G r o u p C h a t」の入力ボックスにメッセージを入力すると、当該グループに属するユーザおよびメンバ全員の「G r o u p C h a t」にユーザのメッセージが表示される。「G r o u p C h a t」には、当該グループに属するユーザおよびメンバ全員のメッセージがタイムラインで表示される。ユーザが複数のグループを選択すると、「G r o u p C h a t」のカラムは複数表示される。

[0088] 「M y F e e d」に表示された発言領域内の所定の領域（例えば、名前と日付の領域）にカーソルCを重ねると、ポップアップアイコンPが表示される。

[0089] 図7は、第1の実施形態に係るポップアップアイコンの一例を示す図である。図7は、図6に示すポップアップアイコンPを拡大した図である。ポップアップアイコンPは、「S h o w C o n v e r s a t i o n」を表すアイコンP1、「R e p l y」を表すアイコンP2、「T o I n b o x」を

表すアイコンP3、および、「Add task from Message」を表すアイコンP4の、4つのアイコンで構成される。

[0090] 「Show Conversation」を表すアイコンP1をクリックすると、当該発言が短縮表示されていた場合、当該発言の全てが表示される。例えば、当該発言に対する返信がスレッド表示される。

[0091] 「Reply」を表すアイコンP2をクリックすると、当該発言に対する返信を入力することができる。

[0092] 「To Inbox」を表すアイコンP3をクリックすると、当該発言のコピーが「Inbox」に追加される。

[0093] 「Add task from Message」を表すアイコンP4をクリックすると、当該発言のコピーが「My Task」に追加される。

[0094] これらのアイコンは、「WatchFeed」および「GroupChat」に表示された発言やメッセージをクリックした場合にも表示される。なお、「GroupChat」が1対1のチャットであった場合は、ポップアップアイコンPには「To Inbox」を表すアイコンP3および「Add task from Message」を表すアイコンP4の2つが表示されるようにするとよい。

[0095] 「Inbox」には、ユーザが「To Inbox」を表すアイコンP3をクリックした発言およびメッセージと、ユーザが「Inbox」の入力ボックスに入力したメモと、メンバからユーザに対するタスク依頼が表示される。メンバからのタスク依頼に対しては、承認、拒絶および依頼のいずれかができる。タスク依頼を承認すると、「My Task」に表示され、依頼元のメンバにタスクが承認された旨が通知される。タスク依頼を拒否すると、依頼元のメンバにタスクが拒否された旨が通知される。なお、タスク依頼を拒否すると、「拒否」のステータスでユーザの「My Task」に表示されるようにしてもよい。

[0096] また、「Inbox」に表示されている発言、メッセージおよびメモから、メンバへタスク依頼をすることができる。タスク依頼をすると、依頼先の

メンバの「I n b o x」にユーザからのタスク依頼が表示される。また、「I n b o x」に表示されているメンバからのタスク依頼を、他のメンバにタスク依頼することもできる。この場合は、元の依頼元のメンバに、依頼先が変更された旨が通知される。

[0097] 「I n b o x」に表示されている発言、メッセージおよびメモは削除することができる。

[0098] 「M y T a s k」には、ユーザが「A d d t a s k f r o m M e s s a g e」を表すアイコンをクリックした発言およびメッセージと、ユーザが入力ボックスに入力したユーザのタスクと、「I n b o x」でユーザが承認したタスクが表示される。「M y T a s k」に表示されたタスクに対してユーザは優先順位を設定することができ、並び順も自由に変更することができる。

[0099] 「M y T a s k」に表示されているタスクは削除することができる。ユーザはタスク完了後にタスクを削除する。

[0100] これらのカラム毎に検索ができ、検索の入力ボックスにユーザが条件を入力すると、検索結果を表示するカラムが検索対象であるカラムの右横に追加され、入力された条件に合致するデータが表示される。例えば、ユーザが自分のアカウント名や氏名を入力すると、自分宛ての発言やメッセージなどを抽出することができる。また、あらかじめフィルタ条件を設定しておく、その後が発生した発言やメッセージのうちフィルタ条件に合致する発言やメッセージなどを自動的に検索し、検索結果を表示するカラムに追加して表示する。「W a t c h F e e d」は、検索結果を表示するカラムをカスタマイズしたものである。

[0101] 図8は、第1の実施形態に係るM y F e e dの表示処理の動作の一例を示すフローチャートである。図8に示す表示処理1は、ユーザがユーザ端末2を用いてサーバ1にアクセスし、サーバ1の表示制御部12が送受信部11を介してS Nの表示画面をユーザ端末2に送信すると開始する。

[0102] サーバ1の送受信部11は、ユーザ端末2から発言データを受信しない場

合（ステップS 1 1 ; N O）、ステップS 1 1を繰り返して発言データの受信を待機する。ユーザ端末2から発言データを受信した場合（ステップS 1 1 ; Y E S）、送受信部1 1は、発言データをデータ更新部1 4に送る。データ更新部1 4は、発言データを記憶部1 3に記憶する（ステップS 1 2）。表示制御部1 2は、記憶部1 3に記憶された発言データをS N内の全メンバのメンバ端末3に送信する（ステップS 1 3）。

[0103] サーバ1の電源がO F Fになっておらず、ユーザ端末2がログオフしていない場合（ステップS 1 4 ; N O）、ステップS 1 1に戻り、ステップS 1 1～ステップS 1 4を繰り返す。サーバ1の電源がO F Fになった場合、または、ユーザ端末2がログオフした場合（ステップS 1 4 ; Y E S）、処理を終了する。

[0104] 図9は、第1の実施形態に係るW a t c h F e e dの表示処理の動作の一例を示すフローチャートである。図9に示す表示処理2は、ユーザがユーザ端末2を用いてサーバ1にアクセスし、サーバ1の表示制御部1 2が送受信部1 1を介してS Nの表示画面をユーザ端末2に送信すると開始する。

[0105] サーバ1の送受信部1 1は、ユーザ端末2から条件情報を受信しない場合（ステップS 2 1 ; N O）、ステップS 2 1を繰り返して条件情報の受信を待機する。送受信部1 1が、ユーザ端末2から条件情報を受信したとする（ステップS 2 1 ; Y E S）。この場合、送受信部1 1は、条件情報をデータ更新部1 4に送信する。

[0106] データ更新部1 4は、受信した条件情報が示す条件に合致するデータを記憶部1 3が記憶するチャットデータ、I n b o xデータおよびタスクデータから抽出する（ステップS 2 2）。記憶表示制御部1 2は、条件に合致するデータを示す抽出情報を、送受信部1 1を介してユーザ端末2に送信する（ステップS 2 3）。

[0107] サーバ1の電源がO F Fになっておらず、ユーザ端末2がログオフしていない場合（ステップS 2 4 ; N O）、ステップS 2 1に戻り、ステップS 2 1～ステップS 2 4を繰り返す。サーバ1の電源がO F Fになった場合、ま

たは、ユーザ端末2がログオフした場合（ステップS24；YES）、処理を終了する。

[0108] 図10は、第1の実施形態に係るlnboxの表示処理の動作の一例を示すフローチャートである。図10に示す表示処理3は、ユーザがユーザ端末2を用いてサーバ1にアクセスし、サーバ1の表示制御部12が送受信部11を介してSNの表示画面をユーザ端末2に送信すると開始する。

[0109] サーバ1の送受信部11が、ユーザ端末2から選択情報およびメモ情報を受信せず、かつ、メンバ端末3からユーザ宛のタスク依頼情報を受信しないとする（ステップS31；NO、ステップS32；NO、ステップS33；NO）。この場合、送受信部11は、ステップS31～ステップS33を繰り返し、選択情報、メモ情報またはユーザ宛のタスク依頼情報の受信を待機する。

[0110] 送受信部11が、ユーザ端末2から選択情報を受信した（ステップS31；YES）とする。または、送受信部11が、ユーザ端末2からメモ情報を受信したとする（ステップS31；NO、ステップS32；YES）。あるいは、送受信部11が、メンバ端末3からユーザ宛のタスク依頼情報を受信したとする（ステップS31；NO、ステップS32；NO、ステップS33；YES）。

[0111] この場合、送受信部11が受信した情報は、データ更新部14に送信され、データ更新部14は、送受信部11から受け取った選択情報、メモ情報およびユーザ宛のタスク依頼情報のいずれかをユーザのlnboxデータとして記憶部13に記憶する（ステップS34）。表示制御部12は、記憶部13にユーザのlnboxデータが記憶されると、ユーザ端末2に、送受信部11を介してユーザのlnboxデータを送信する（ステップS35）。

[0112] サーバ1の電源がOFFになっておらず、ユーザ端末2がログオフしていない場合（ステップS36；NO）、ステップS31に戻り、ステップS31～ステップS36を繰り返す。サーバ1の電源がOFFになった場合、または、ユーザ端末2がログオフした場合（ステップS36；YES）、処理

を終了する。

[0113] 図 1 1 は、第 1 の実施形態に係る M y T a s k の表示処理の動作の一例を示すフローチャートである。図 1 1 に示す表示処理 4 は、ユーザがユーザ端末 2 を用いてサーバ 1 にアクセスし、サーバ 1 の表示制御部 1 2 が送受信部 1 1 を介して S N の表示画面をユーザ端末 2 に送信すると開始する。

[0114] サーバ 1 の送受信部 1 1 が、ユーザ端末 2 からタスク選択情報、タスク入力情報、および、タスク承認情報を受信しないとする（ステップ S 4 1 ; N O , ステップ S 4 2 ; N O , ステップ S 4 3 ; N O）。この場合、送受信部 1 1 は、ステップ S 4 1 ~ ステップ S 4 3 を繰り返し、タスク選択情報、タスク入力情報またはタスク承認情報の受信を待機する。

[0115] 送受信部 1 1 が、ユーザ端末 2 からタスク選択情報を受信した（ステップ S 4 1 ; Y E S）とする。または、送受信部 1 1 が、ユーザ端末 2 からタスク入力情報を受信したとする（ステップ S 4 1 ; N O、ステップ S 4 2 ; Y E S）。あるいは、送受信部 1 1 が、ユーザ端末 2 からタスク承認情報を受信したとする（ステップ S 4 1 ; N O , ステップ S 4 2 ; N O , ステップ S 4 3 ; Y E S）。

[0116] この場合、送受信部 1 1 が受信した情報は、データ更新部 1 4 に送信され、データ更新部 1 4 は、送受信部 1 1 から受け取ったタスク選択情報、タスク入力情報およびタスク承認情報のいずれかをユーザのタスクデータとして記憶部 1 3 に記憶する（ステップ S 4 4）。表示制御部 1 2 は、記憶部 1 3 にユーザのタスクデータが記憶されると、ユーザ端末 2 に、送受信部 1 1 を介してユーザのタスクデータを送信する（ステップ S 4 5）。

[0117] サーバ 1 の電源が O F F になっておらず、ユーザ端末 2 がログオフしていない場合（ステップ S 4 6 ; N O）、ステップ S 4 1 に戻り、ステップ S 4 1 ~ ステップ S 4 6 を繰り返す。サーバ 1 の電源が O F F になった場合、または、ユーザ端末 2 がログオフした場合（ステップ S 4 6 ; Y E S）、処理を終了する。

[0118] 図 1 2 は、第 1 の実施形態に係る G r o u p C h a t の表示処理の動作の

一例を示すフローチャートである。図 12 に示す表示処理 5 は、ユーザがユーザ端末 2 を用いてサーバ 1 にアクセスし、サーバ 1 の表示制御部 12 が送受信部 11 を介して S N の表示画面をユーザ端末 2 に送信すると開始する。

[0119] サーバ 1 の送受信部 11 は、ユーザ端末 2 からチャットデータを受信しない場合（ステップ S 51；N O）、ステップ S 51 を繰り返してチャットデータの受信を待機する。ユーザ端末 2 からチャットデータを受信した場合（ステップ S 51；Y E S）、送受信部 11 は、チャットデータをデータ更新部 14 に送る。データ更新部 14 は、チャットデータを記憶部 13 に記憶する（ステップ S 52）。表示制御部 12 は、記憶部 13 に記憶されたチャットデータをグループ内の全メンバに各々関連付けされているメンバ端末 3 に送信する（ステップ S 53）。

[0120] サーバ 1 の電源が O F F になっておらず、ユーザ端末 2 がログオフしていない場合（ステップ S 54；N O）、ステップ S 51 に戻り、ステップ S 51～ステップ S 54 を繰り返す。サーバ 1 の電源が O F F になった場合、または、ユーザ端末 2 がログオフした場合（ステップ S 54；Y E S）、処理を終了する。

[0121] 以上説明したように、第 1 の実施形態によれば、複数の構成員が属する組織内で、構成員同士のやり取りや、構成員が記載したメモを基に、ユーザが自らのタスクを決定する。更にユーザは、他の構成員から依頼されたタスクを承認する。これによりユーザは、自ら決定したタスクと他の構成員から依頼されたタスクとを共に一元的に管理することができる。例えば、「T o I n b o x」を示すアイコン P 3 を設けたことにより、ユーザが保存しておきたいメッセージを簡単に「I n b o x」に入れることができる。「I n b o x」には、ユーザが入力したメモ、ユーザが選択したメッセージ、および、ユーザ宛のタスク依頼が一覧で表示される。これにより、ユーザが気に留めたまたは気に留めるべきこれらの情報をユーザが失念したり、忘れたり、取りこぼしたりすることを防止し、思いつきを生かすことができる。その結果、業務の効率化につながる。

[0122] 図13は、第1の実施形態に係るサーバのハードウェア構成の一例を示すブロック図である。サーバ1は、図13に示すように、制御部61、主記憶部62、外部記憶部63、操作部64、表示部65および送受信部66を備える。主記憶部62、外部記憶部63、操作部64、表示部65および送受信部66はいずれも内部バス60を介して制御部61に接続されている。

[0123] 制御部61はCPU (Central Processing Unit) 等から構成され、外部記憶部63に記憶されている制御プログラム69に従って、サーバ1の表示制御部12およびデータ更新部14の各処理を実行する。

[0124] 主記憶部62はRAM (Random-Access Memory) 等から構成され、外部記憶部63に記憶されている制御プログラム69をロードし、制御部61の作業領域として用いられる。

[0125] 外部記憶部63は、フラッシュメモリ、ハードディスク、DVD-RAM (Digital Versatile Disc Random-Access Memory)、DVD-RW (Digital Versatile Disc ReWritable) 等の不揮発性メモリから構成される。外部記憶部63は、サーバ1の処理を制御部61に行わせるためのプログラムをあらかじめ記憶し、また、制御部61の指示に従って、このプログラムが記憶するデータを制御部61に供給し、制御部61から供給されたデータを記憶する。サーバ1の記憶部13は、外部記憶部63に構成される。

[0126] 操作部64はキーボードおよびマウスなどのポインティングデバイス等と、キーボードおよびポインティングデバイス等を内部バス60に接続するインタフェース装置から構成されている。ユーザがサーバ1に直接情報を入力する場合は、操作部64を介して、入力された情報が制御部61に供給される。

[0127] 表示部65は、CRT (Cathode Ray Tube) またはLCD (Liquid Crystal Display) などから構成され、ユーザがサーバ1に直接情報を入力する場合は、操作画面を表示する。

[0128] 送受信部66は、ネットワークに接続する網終端装置または無線通信装置、およびそれらと接続するシリアルインタフェースまたはLAN (Local Area

a Network) インタフェースから構成されている。送受信部 66 は、サーバ 1 の送受信部 11 として機能してもよい。

[0129] 図 1 に示すサーバ 1 の各部（送受信部 11、表示制御部 12、記憶部 13 およびデータ更新部 14）は、制御プログラム 69 が、制御部 61、主記憶部 62、外部記憶部 63、操作部 64、表示部 65 および送受信部 66 などを資源として使用することで実行する。

[0130] その他、前記のハードウェア構成やフローチャートは一例であり、任意に変更および修正が可能である。

[0131] 制御部 61、主記憶部 62、外部記憶部 63、内部バス 60 などから構成される制御処理を行う中心となる部分は、専用のシステムによらず、通常のコンピュータシステムを用いて実現可能である。例えば、前記の動作を実行するためのコンピュータプログラムを、コンピュータが読み取り可能な記録媒体（フレキシブルディスク、CD-ROM、DVD-ROM等）に格納して配布し、該コンピュータプログラムをコンピュータにインストールすることで、前記の処理を実行するソーシャルネットワークシステムを構成してもよい。また、インターネット等の通信ネットワーク上のサーバ装置が有する記憶装置に該コンピュータプログラムを格納しておき、通常のコンピュータシステムがダウンロード等することでソーシャルネットワークシステムを構成してもよい。

[0132] また、ソーシャルネットワークシステムの機能を、OS（オペレーティングシステム）とアプリケーションプログラムの分担、またはOSとアプリケーションプログラムとの協働を利用して実現してもよい。この場合には、アプリケーションプログラム部分のみを記録媒体や記憶装置に格納してもよい。

[0133] また、搬送波にコンピュータプログラムを重畳し、通信ネットワークを介して配信することも可能である。例えば、通信ネットワーク上の掲示板(BBS: Bulletin Board System)に前記コンピュータプログラムを掲示し、ネットワークを介して前記コンピュータプログラムを配信してもよい。そして、こ

のコンピュータプログラムを起動し、OSの制御下で、他のアプリケーションプログラムと同様に実行することで、前記の処理を実行できるように構成してもよい。

<第2の実施形態>

本発明の第2の実施形態に係るソーシャルネットワークサーバ1aを、図14に示す。ソーシャルネットワークサーバ1aは、ソーシャルネットワークの表示画面を表示するソーシャルネットワークシステムを制御するサーバである。ソーシャルネットワークサーバ1aは、ソーシャルネットワークを使用するユーザの端末に通信可能に接続されている。以下、端末の内、ソーシャルネットワークの着目する構成員であるユーザが使用する端末を「ユーザ端末」と、ユーザ以外の構成員である1人以上のメンバが使用する端末を「メンバ端末」と定義する。

ソーシャルネットワークサーバ1aは、表示制御部12aおよびデータ更新部14aを備える。

データ更新部14aは、部分集合情報、メッセージ情報、メモ情報、第1タスク依頼情報および選択情報を取得する。

部分集合情報は、ソーシャルネットワークの構成員の任意の部分集合に属するユーザおよびメンバを識別する情報である。

メッセージ情報は、部分集合に属するユーザおよびメンバが入力したメッセージを示す情報である。

メモ情報は、ユーザが入力したメモを示す情報である。

第1タスク依頼情報は、メンバからユーザへのタスクの依頼を示す情報である。

選択情報は、ユーザおよびメンバが入力したメッセージのうちユーザが選択したメッセージを示す情報である。

データ更新部14aは、ユーザが入力したメッセージを示すメッセージ情報を、部分集合に属するすべてのメンバのメンバ端末に送信する。

表示制御部12aは、部分集合に属するユーザおよびメンバが入力したメ

ッセージを示すメッセージ情報を表示する第1表示領域と、メモ情報と第1タスク依頼情報と選択情報とを表示する第2表示領域と、を含む表示画面をユーザ端末およびメンバ端末に提示する。

更に、データ更新部14aは、第2表示領域に表示されたメモ情報、選択情報および第1タスク依頼情報の中からユーザが自らのタスクとして選択した情報をユーザのタスクデータとして取得する。データ更新部14aは、第2表示領域に表示されたメモ情報、選択情報および第1タスク依頼情報の中からユーザがメンバのタスクとして選択した情報を当該メンバへのタスクの依頼として取得する。データ更新部14aは、メンバへのタスクの依頼を示す第2タスク依頼情報を当該メンバのメンバ端末に送信する。

表示画面は、ユーザのタスクデータを表示する第3表示領域を含む。

以上説明したように、第2の実施形態によれば、複数の構成員が属する組織内で、構成員同士のやり取りや、構成員が記載したメモを基に、ユーザが自らのタスクを決定する。これによりユーザは、自ら決定したタスクと他の構成員から依頼されたタスクとを共に一元的に管理することができる。

以上、実施形態を参照して本願発明を説明したが、本願発明は上記実施形態に限定されたものではない。本願発明の構成や詳細には、本願発明のスコープ内で当業者が理解し得る様々な変更をすることができる。

[0134] 上記の実施形態の一部または全部は、以下の付記のようにも記載されうるが、以下には限られない。

[0135] (付記1)

ソーシャルネットワークの着目する構成員であるユーザが使用するユーザ端末と前記ユーザ以外の構成員である1人以上のメンバが使用するメンバ端末とに前記ソーシャルネットワークの表示画面を表示するソーシャルネットワークシステムであって、

前記ソーシャルネットワークの構成員の任意の部分集合に属する前記ユーザおよび前記メンバを識別する部分集合情報を取得する部分集合取得手段と、

前記部分集合に属する前記ユーザおよび前記メンバが入力したメッセージを示すメッセージ情報を取得するメッセージ取得手段と、

前記ユーザが入力したメモを示すメモ情報を取得するメモ取得手段と、

前記ユーザが入力したメッセージを示す前記メッセージ情報を、前記部分集合に属するすべての前記メンバの前記メンバ端末に送信するメッセージ送信手段と、

前記メンバから前記ユーザへのタスクの依頼を示す第1タスク依頼情報を取得するタスク依頼取得手段と、

前記メッセージ取得手段が取得したメッセージのうち前記ユーザが選択したメッセージを示す選択情報を取得する選択取得手段と、

前記部分集合に属する前記ユーザおよび前記メンバが入力したメッセージを示す前記メッセージ情報を表示する第1表示領域と、前記メモ情報と前記第1タスク依頼情報と前記選択情報とを表示する第2表示領域と、を含む表示画面を前記ユーザ端末に送信する画面送信手段と、

前記第2表示領域に表示された前記メモ情報、前記選択情報および前記第1タスク依頼情報の中から前記ユーザが自らのタスクとして選択した情報を前記ユーザのタスクデータとして取得するユーザタスク取得手段と、

前記第2表示領域に表示された前記メモ情報、前記選択情報および前記第1タスク依頼情報の中から前記ユーザが前記メンバのタスクとして選択した情報を当該メンバへのタスクの依頼として取得するメンバタスク取得手段と、

前記メンバへのタスクの依頼を示す第2タスク依頼情報を当該メンバの前記メンバ端末に送信するメンバタスク送信手段と、

を備え、

前記表示画面は、前記ユーザのタスクデータを表示する第3表示領域を含むことを特徴とするソーシャルネットワークシステム。

[0136] (付記2)

前記メッセージ情報、前記メモ情報および前記第1タスク依頼情報から、

前記ユーザが入力した条件に合致する情報を抽出する抽出手段をさらに備え、

前記表示画面は、前記条件に合致する情報を示す抽出情報を表示する第4表示領域を含み、前記第1表示領域、前記第2表示領域、前記第3表示領域、および、前記第4表示領域を並列して表示することを特徴とする付記1に記載のソーシャルネットワークシステム。

[0137] (付記3)

前記ユーザタスク取得手段は、前記ユーザが承認の応答をした前記第1タスク依頼情報を前記ユーザのタスクデータとして取得し、

前記メンバタスク取得手段は、前記ユーザが当該タスクを依頼する他の前記メンバを識別する識別情報を入力し、依頼変更の応答をした前記第1タスク依頼情報を、前記他のメンバへのタスクの依頼として取得することを特徴とする付記1または2に記載のソーシャルネットワークシステム。

[0138] (付記4)

前記第1タスク依頼情報に対して、前記ユーザが承認の応答をした場合、当該タスク依頼が承認されたことを通知する承認通知データを依頼元の前記メンバの前記メンバ端末に送信し、前記第1タスク依頼情報に対して、前記ユーザが拒否の応答をした場合、当該タスク依頼が拒否されたことを通知する拒否通知データを依頼元の前記メンバの前記メンバ端末に送信し、前記第1タスク依頼情報に対して、前記ユーザが依頼変更の応答をした場合、当該タスクの依頼先が前記ユーザから前記他のメンバに変更されたことを通知する依頼変更通知データを依頼元の前記メンバの前記メンバ端末に送信する通知手段をさらに備えることを特徴とする付記3に記載のソーシャルネットワークシステム。

[0139] (付記5)

ソーシャルネットワークの着目する構成員であるユーザが使用するユーザ端末と前記ユーザ以外の構成員である1人以上のメンバが使用するメンバ端末とに前記ソーシャルネットワークの表示画面を表示するソーシャルネット

ワークシステムが実行する画面表示方法であって、

前記ソーシャルネットワークの構成員の任意の部分集合に属する前記ユーザおよび前記メンバを識別する識別情報を取得する識別情報取得ステップと、

前記部分集合に属する前記ユーザおよび前記メンバが入力したメッセージを示すメッセージ情報を取得するメッセージ取得ステップと、

前記ユーザが入力したメモを示すメモ情報を取得するメモ取得ステップと、

前記ユーザが入力したメッセージを示す前記メッセージ情報を、前記部分集合に属するすべての前記メンバの前記メンバ端末に送信するメッセージ送信ステップと、

前記メンバから前記ユーザへのタスクの依頼を示す第1タスク依頼情報を取得するタスク依頼取得ステップと、

前記メッセージ取得ステップで取得したメッセージのうち前記ユーザが選択したメッセージを示す選択情報を取得する選択取得ステップと、

前記部分集合に属する前記ユーザおよび前記メンバが入力したメッセージを示す前記メッセージ情報を表示する第1表示領域と、前記メモ情報と前記第1タスク依頼情報と前記選択情報とを表示する第2表示領域と、を含む表示画面を前記ユーザ端末に送信する画面送信ステップと、

前記第2表示領域に表示された前記メモ情報、前記選択情報および前記第1タスク依頼情報の中から前記ユーザが自らのタスクとして選択した情報を前記ユーザのタスクデータとして取得するユーザタスク取得ステップと、

前記第2表示領域に表示された前記メモ情報、前記選択情報および前記第1タスク依頼情報の中から前記ユーザが前記メンバのタスクとして選択した情報を当該メンバへのタスクの依頼として取得するメンバタスク取得ステップと、

前記メンバへのタスク依頼を示す第2タスク依頼情報を当該メンバの前記メンバ端末に送信するメンバタスク送信ステップと、

を備え、

前記表示画面は、前記ユーザのタスクデータを表示する第3表示領域を含むことを特徴とする画面表示方法。

[0140] (付記6)

前記メッセージ情報、前記メモ情報および前記第1タスク依頼情報から、前記ユーザが入力した条件に合致する情報を抽出する抽出ステップをさらに備え、

前記表示画面は、前記条件に合致する情報を示す抽出情報を表示する第4表示領域を含み、前記第1表示領域、前記第2表示領域、前記第3表示領域、および、前記第4表示領域を並列して表示することを特徴とする付記5に記載の画面表示方法。

[0141] (付記7)

前記ユーザタスク取得ステップでは、前記ユーザが承認の応答をした前記第1タスク依頼情報を前記ユーザのタスクデータとして取得し、

前記メンバタスク取得ステップでは、前記ユーザが当該タスクを依頼する他の前記メンバを識別する識別情報を入力し、依頼変更の応答をした前記第1タスク依頼情報を、前記他のメンバへのタスクの依頼として取得することを特徴とする付記5または6に記載の画面表示方法。

[0142] (付記8)

前記第1タスク依頼情報に対して、前記ユーザが承認の応答をした場合、当該タスク依頼が承認されたことを通知する承認通知データを依頼元の前記メンバの前記メンバ端末に送信し、前記第1タスク依頼情報に対して、前記ユーザが拒否の応答をした場合、当該タスク依頼が拒否されたことを通知する拒否通知データを依頼元の前記メンバの前記メンバ端末に送信し、前記第1タスク依頼情報に対して、前記ユーザが依頼変更の応答をした場合、当該タスクの依頼先が前記ユーザから前記他のメンバに変更されたことを通知する依頼変更通知データを依頼元の前記メンバの前記メンバ端末に送信する通知ステップをさらに備えることを特徴とする付記7に記載の画面表示方法。

[0143] (付記9)

ソーシャルネットワークの着目する構成員であるユーザが使用するユーザ端末と前記ユーザ以外の構成員である1人以上のメンバが使用するメンバ端末とに前記ソーシャルネットワークの表示画面を表示するコンピュータを、

前記ソーシャルネットワークの構成員の任意の部分集合に属する前記ユーザおよび前記メンバを識別する識別情報を取得する識別情報取得手段、

前記部分集合に属する前記ユーザおよび前記メンバが入力したメッセージを示すメッセージ情報を取得するメッセージ取得手段、

前記ユーザが入力したメモを示すメモ情報を取得するメモ取得手段、

前記ユーザが入力したメッセージを示す前記メッセージ情報を、前記部分集合に属するすべての前記メンバの前記メンバ端末に送信するメッセージ送信手段、

前記メンバから前記ユーザへのタスクの依頼を示す第1タスク依頼情報を取得するタスク依頼取得手段、

前記メッセージ取得手段が取得したメッセージのうち前記ユーザが選択したメッセージを示す選択情報を取得する選択取得手段、

前記部分集合に属する前記ユーザおよび前記メンバが入力したメッセージを示す前記メッセージ情報を表示する第1表示領域と、前記メモ情報と前記第1タスク依頼情報と前記選択情報とを表示する第2表示領域と、を含む表示画面を前記ユーザ端末に送信する画面送信手段、

前記第2表示領域に表示された前記メモ情報、前記選択情報および前記第1タスク依頼情報の中から前記ユーザが自らのタスクとして選択した情報を前記ユーザのタスクデータとして取得するユーザタスク取得手段、

前記第2表示領域に表示された前記メモ情報、前記選択情報および前記第1タスク依頼情報の中から前記ユーザが前記メンバのタスクとして選択した情報を当該メンバへのタスクの依頼として取得するメンバタスク取得手段、および、

前記メンバへのタスクの依頼を示す第2タスク依頼情報を当該メンバの前

記メンバ端末に送信するメンバタスク送信手段、

として機能させ、

前記表示画面は、前記ユーザのタスクデータを表示する第3表示領域を含むことを特徴とするプログラムを格納する記録媒体。

この出願は2014年1月28日に提出された日本出願特願2014-013665を基礎とする優先権を主張し、その開示の全てをここに取り込む。

符号の説明

- [0144]
- 1 サーバ
 - 2 ユーザ端末
 - 3 メンバ端末
 - 11 送受信部
 - 12 表示制御部
 - 13 記憶部
 - 14 データ更新部
 - 21 入力部
 - 22 送受信部
 - 23 表示部
 - 31 入力部
 - 32 送受信部
 - 33 表示部
 - 60 内部バス
 - 61 制御部
 - 62 主記憶部
 - 63 外部記憶部
 - 64 操作部
 - 65 表示部
 - 66 送受信部

6 9 制御プログラム

1 0 0 ソーシャルネットワークシステム

請求の範囲

[請求項1]

ソーシャルネットワークの着目する構成員であるユーザが使用するユーザ端末と前記ユーザ以外の構成員である1人以上のメンバが使用するメンバ端末とに前記ソーシャルネットワークの表示画面を表示するソーシャルネットワークシステムを制御するサーバであって、

前記ソーシャルネットワークの構成員の任意の部分集合に属する前記ユーザおよび前記メンバを識別する部分集合情報と、

前記部分集合に属する前記ユーザおよび前記メンバが入力したメッセージを示すメッセージ情報と、

前記ユーザが入力したメモを示すメモ情報と、

前記メンバから前記ユーザへのタスクの依頼を示す第1タスク依頼情報と、

前記ユーザおよび前記メンバが入力したメッセージのうち前記ユーザが選択したメッセージを示す選択情報と、を取得し、

前記ユーザが入力したメッセージを示すメッセージ情報を、前記部分集合に属するすべての前記メンバの前記メンバ端末に送信する、データ更新手段と、

前記部分集合に属する前記ユーザおよび前記メンバが入力したメッセージを示すメッセージ情報を表示する第1表示領域と、前記メモ情報と前記第1タスク依頼情報と前記選択情報とを表示する第2表示領域と、を含む表示画面を前記ユーザ端末および前記メンバ端末に提示する表示制御手段

とを備え、

前記データ更新手段は、

前記第2表示領域に表示された前記メモ情報、前記選択情報および前記第1タスク依頼情報の中から前記ユーザが自らのタスクとして選択した情報を前記ユーザのタスクデータとして取得し、

前記第2表示領域に表示された前記メモ情報、前記選択情報およ

び前記第 1 タスク依頼情報の中から前記ユーザが前記メンバのタスクとして選択した情報を当該メンバへのタスクの依頼として取得し、

前記メンバへのタスクの依頼を示す第 2 タスク依頼情報を当該メンバの前記メンバ端末に送信し、

前記表示画面は、前記ユーザのタスクデータを表示する第 3 表示領域を含む、

ソーシャルネットワークサーバ。

[請求項2]

前記データ更新手段は、前記メッセージ情報、前記メモ情報および前記第 1 タスク依頼情報から、前記ユーザが入力した条件に合致する情報を抽出し、

前記表示画面は、前記条件に合致する情報を示す抽出情報を表示する第 4 表示領域を含み、前記表示制御手段は、前記第 1 表示領域、前記第 2 表示領域、前記第 3 表示領域、および、前記第 4 表示領域を並列して表示する、

請求項 1 に記載のソーシャルネットワークサーバ。

[請求項3]

前記データ更新手段は、

前記ユーザが承認の応答をした前記第 1 タスク依頼情報を前記ユーザのタスクデータとして取得し、

前記ユーザが当該タスクを依頼する他の前記メンバを識別する識別情報を入力すると共に依頼変更の応答をした前記第 1 タスク依頼情報を、前記他のメンバへのタスクの依頼として取得する、

請求項 1 または 2 に記載のソーシャルネットワークサーバ。

[請求項4]

前記表示制御手段は、

前記第 1 タスク依頼情報に対して、前記ユーザが承認の応答をした場合、当該タスク依頼が承認されたことを通知する承認通知データを依頼元の前記メンバの前記メンバ端末に送信し、

前記第 1 タスク依頼情報に対して、前記ユーザが拒否の応答をした場合、当該タスク依頼が拒否されたことを通知する拒否通知データを

依頼元の前記メンバの前記メンバ端末に送信し、

前記第 1 タスク依頼情報に対して、前記ユーザが依頼変更の応答をした場合、当該タスクの依頼先が前記ユーザから前記他のメンバに変更されたことを通知する依頼変更通知データを依頼元の前記メンバの前記メンバ端末に送信するよう制御する、請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載のソーシャルネットワークサーバ。

[請求項5]

ソーシャルネットワークの着目する構成員であるユーザが使用するユーザ端末と前記ユーザ以外の構成員である 1 人以上のメンバが使用するメンバ端末とに前記ソーシャルネットワークの表示画面を表示するソーシャルネットワーク

システムを制御する方法であって、

前記ソーシャルネットワークの構成員の任意の部分集合に属する前記ユーザおよび前記メンバを識別する部分集合情報と、

前記部分集合に属する前記ユーザおよび前記メンバが入力したメッセージを示すメッセージ情報と、

前記ユーザが入力したメモを示すメモ情報と、

前記メンバから前記ユーザへのタスクの依頼を示す第 1 タスク依頼情報と、

前記ユーザおよび前記メンバが入力したメッセージのうち前記ユーザが選択したメッセージを示す選択情報と、を取得し、

前記ユーザが入力したメッセージを示すメッセージ情報を、前記部分集合に属するすべての前記メンバの前記メンバ端末に送信し、

前記部分集合に属する前記ユーザおよび前記メンバが入力したメッセージを示すメッセージ情報を表示する第 1 表示領域と、前記メモ情報と前記第 1 タスク依頼情報と前記選択情報とを表示する第 2 表示領域と、を含む表示画面を前記ユーザ端末および前記メンバ端末に提示し、

前記取得に際しては、

前記第 2 表示領域に表示された前記メモ情報、前記選択情報および前記第 1 タスク依頼情報の中から前記ユーザが自らのタスクとして選択した情報を前記ユーザのタスクデータとして取得し、

前記第 2 表示領域に表示された前記メモ情報、前記選択情報および前記第 1 タスク依頼情報の中から前記ユーザが前記メンバのタスクとして選択した情報を当該メンバへのタスクの依頼として取得し、

前記送信に際しては、

前記メンバへのタスクの依頼を示す第 2 タスク依頼情報を当該メンバの前記メンバ端末に送信し、

前記表示画面には、前記ユーザのタスクデータを表示する第 3 表示領域を含める、
画像表示方法。

[請求項6]

ソーシャルネットワークの着目する構成員であるユーザが使用するユーザ端末と前記ユーザ以外の構成員である 1 人以上のメンバが使用するメンバ端末とに前記ソーシャルネットワークの表示画面を表示するソーシャルネットワークシステムを制御するコンピュータに、

前記ソーシャルネットワークの構成員の任意の部分集合に属する前記ユーザおよび前記メンバを識別する部分集合情報と、

前記部分集合に属する前記ユーザおよび前記メンバが入力したメッセージを示すメッセージ情報と、

前記ユーザが入力したメモを示すメモ情報と、

前記メンバから前記ユーザへのタスクの依頼を示す第 1 タスク依頼情報と、

前記ユーザおよび前記メンバが入力したメッセージのうち前記ユーザが選択したメッセージを示す選択情報と、を取得し、

前記ユーザが入力したメッセージを示すメッセージ情報を、前記部分集合に属するすべての前記メンバの前記メンバ端末に送信する機能と、

前記部分集合に属する前記ユーザおよび前記メンバが入力したメッセージを示すメッセージ情報を表示する第1表示領域と、前記メモ情報と前記第1タスク依頼情報と前記選択情報とを表示する第2表示領域と、を含む表示画面を前記ユーザ端末および前記メンバ端末に提示する機能と

を実行させ、

前記送信する機能は更に、

前記第2表示領域に表示された前記メモ情報、前記選択情報および前記第1タスク依頼情報の中から前記ユーザが自らのタスクとして選択した情報を前記ユーザのタスクデータとして取得し、

前記第2表示領域に表示された前記メモ情報、前記選択情報および前記第1タスク依頼情報の中から前記ユーザが前記メンバのタスクとして選択した情報を当該メンバへのタスクの依頼として取得し、

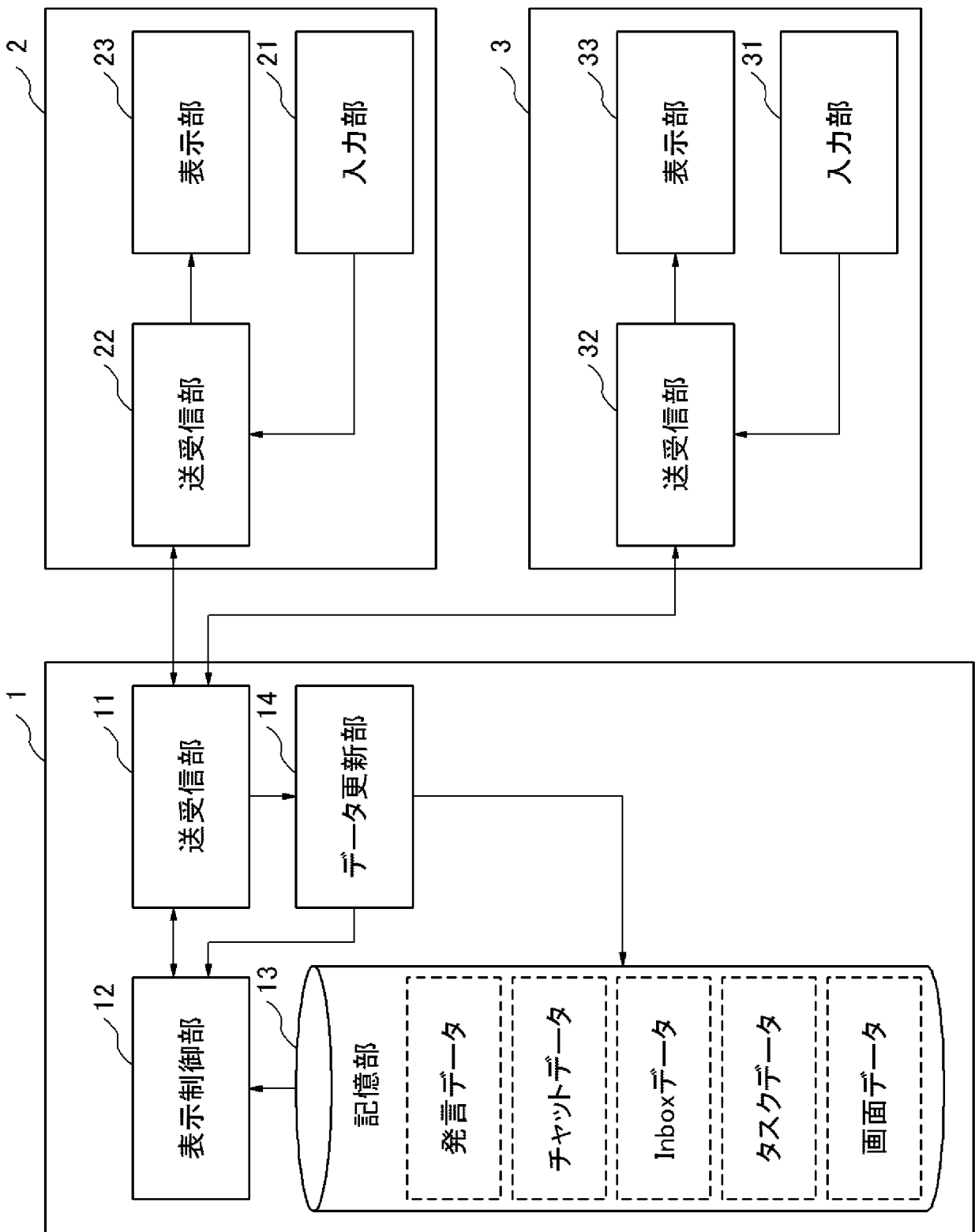
前記メンバへのタスクの依頼を示す第2タスク依頼情報を当該メンバの前記メンバ端末に送信する機能を含み、

前記表示画面には、前記ユーザのタスクデータを表示する第3表示領域を含める、

プログラムを格納する記録媒体。

[図1]

100



[図2]

発言ID	発言日時	ユーザID	宛先ID	発言	返信先 発言ID
------	------	-------	------	----	-------------

[図3]

グループID	メッセージID	入力日時	ユーザID	宛先ID	メッセージ
--------	---------	------	-------	------	-------

[図4]

ユーザID	InboxID	選択情報／メモ情報／ユーザ宛のタスク依頼情報
-------	---------	------------------------

[図5A]

タスクID	依頼元ID	依頼先ID	タスク	状態
-------	-------	-------	-----	----

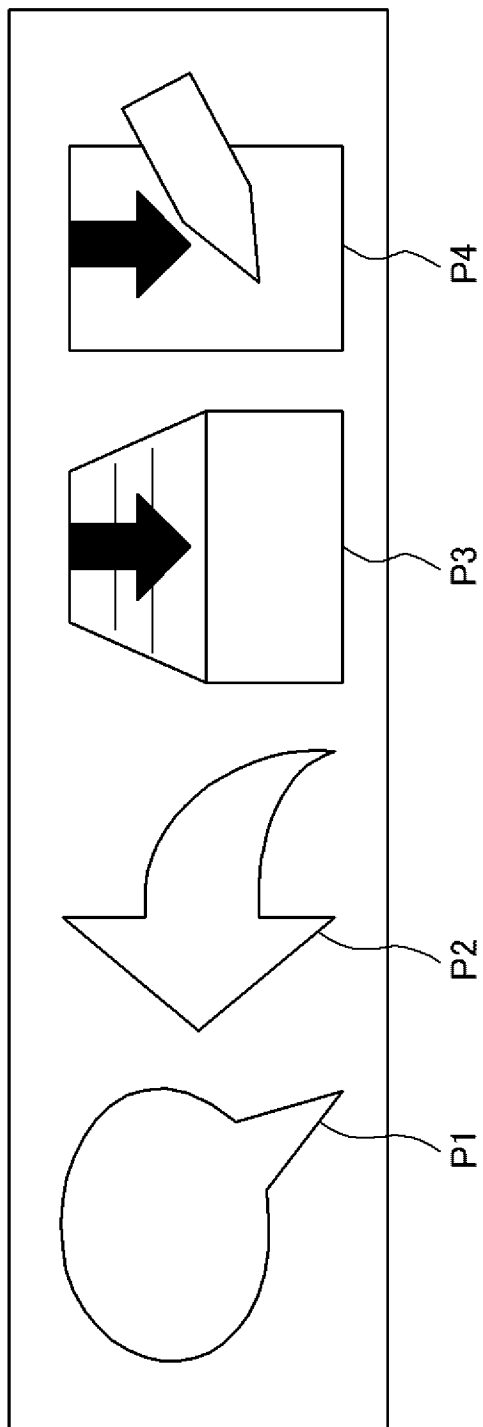
[図5B]

ユーザID	タスクID	タスク選択情報／タスク入力情報／タスク承認情報
-------	-------	-------------------------

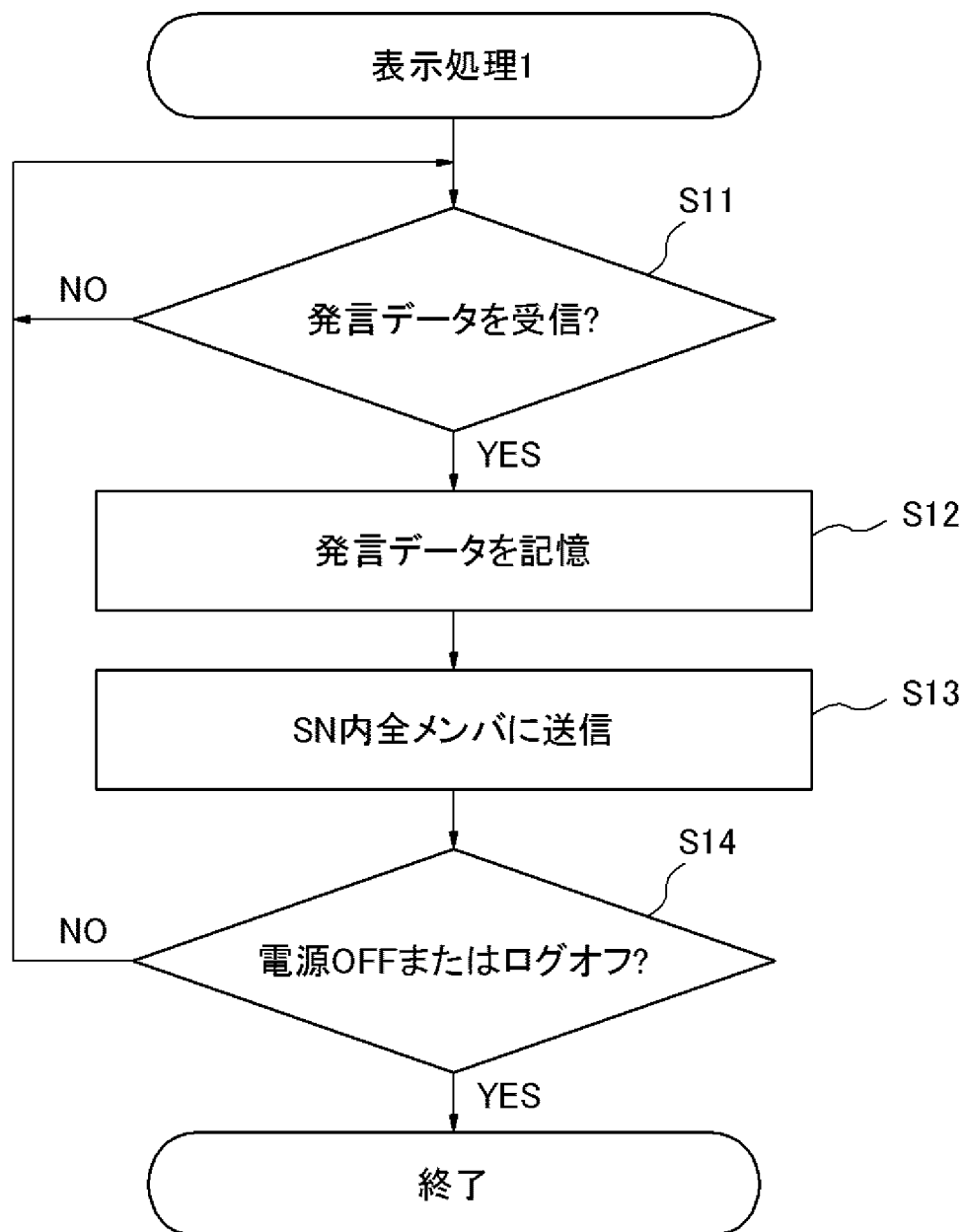
A1 A2 A3 A4 A5 A6

My Feed	Watch Feed	Inbox	My Task	Group Chat (001)	Contact List
ユーザA @userA 2014/1/1 15:01	ユーザE @userE 2013/12/2 17:30	2014/1/2 09:02 ユーザH @userH	2014/1/7 13:00~15:00 ユーザA @userA 〇〇株式会社 打ち合わせ 日時:2014/1/7 13:00~15:00 場所:第1会議室	2014/1/2 09:02 ユーザH @userH	ユーザB @userB ユーザC @userC ユーザD @userD ユーザE @userE ユーザF @userF ユーザG @userG ユーザH @userH
ユーザA @userA 2014/1/1 15:15	ユーザB @userB 2014/1/1 15:25	2014/1/2 09:02 ユーザC @userC ファイルの作成をお願いします。 期限:2014/1/15 ファイル名:XY001	2014/1/15 ユーザC @userC ファイルの作成をお願いします。 期限:2014/1/15 ファイル名:XY001	2014/1/2 09:02 ユーザA @userA	Group001 Group002 Group003 Group004 Group005
ユーザB @userB 2014/1/2 09:44	ユーザD @userD 2014/1/1 18:55	2014/1/2 10:15 ユーザA @userA 〇〇株式会社 打ち合わせ 日時:2014/1/7 13:00~15:00 場所:第1会議室	2014/1/15 ユーザC @userC ファイルの作成をお願いします。 期限:2014/1/15 ファイル名:XY001	2014/1/2 09:02 ユーザA @userA	

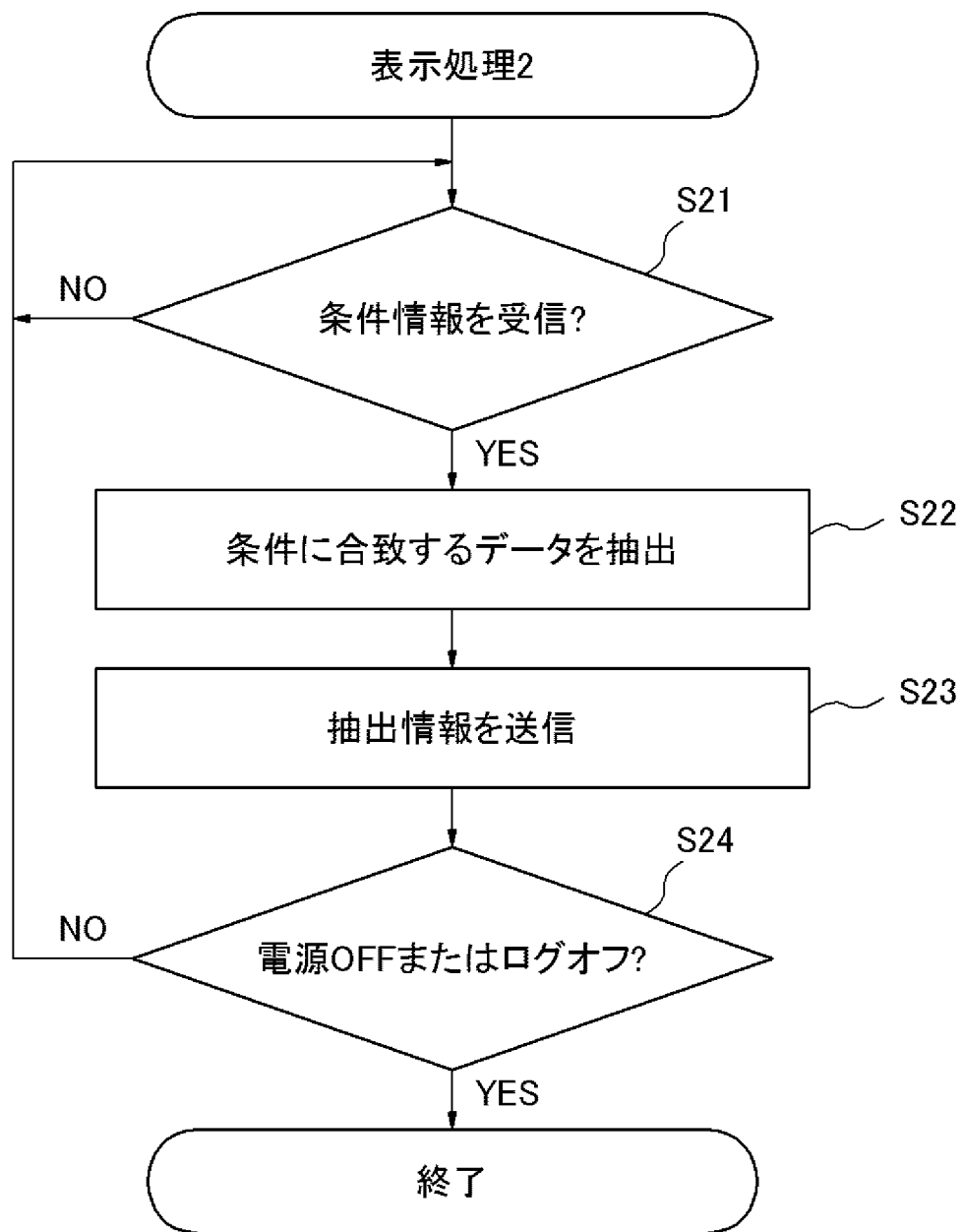
[図7]



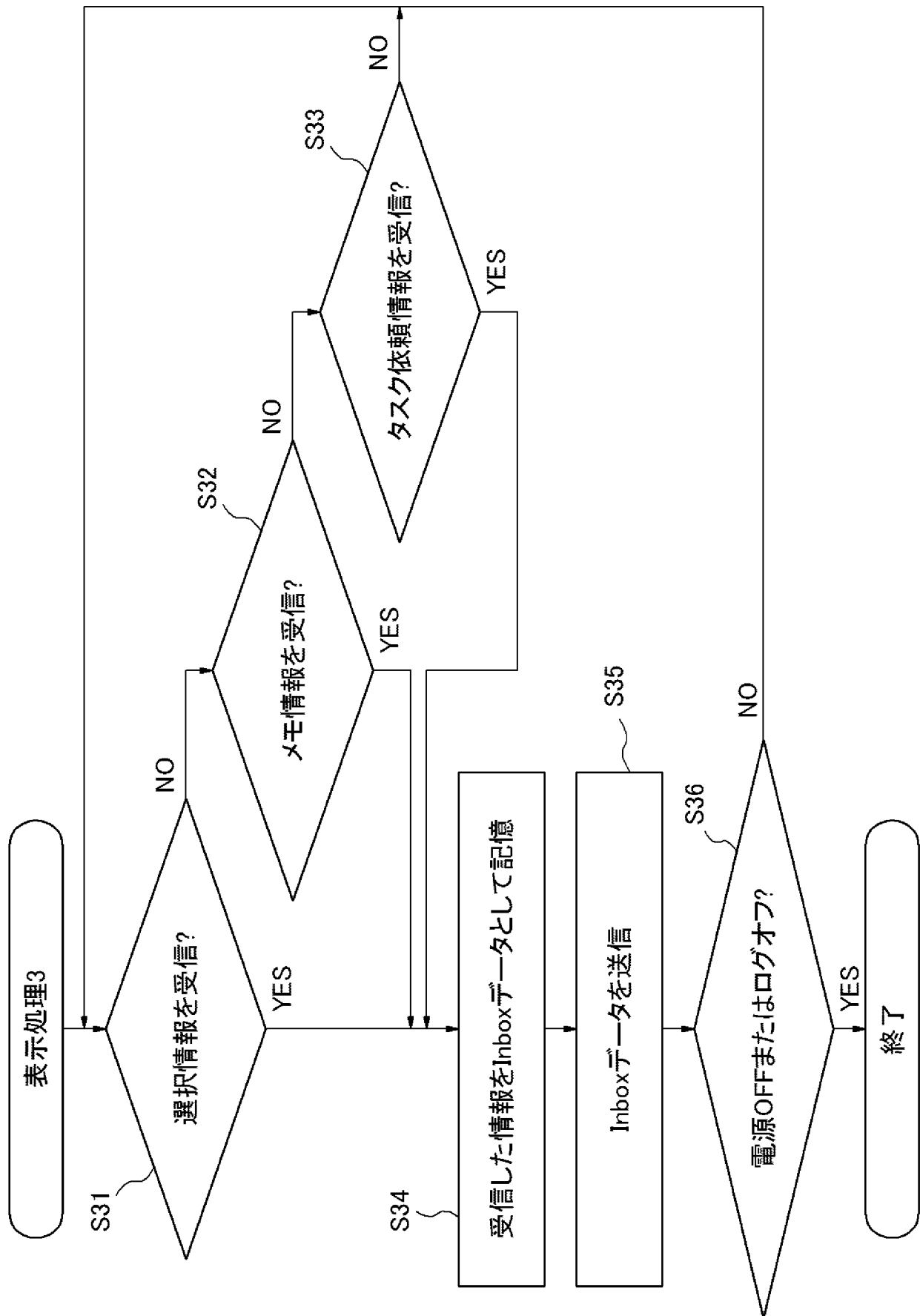
[図8]



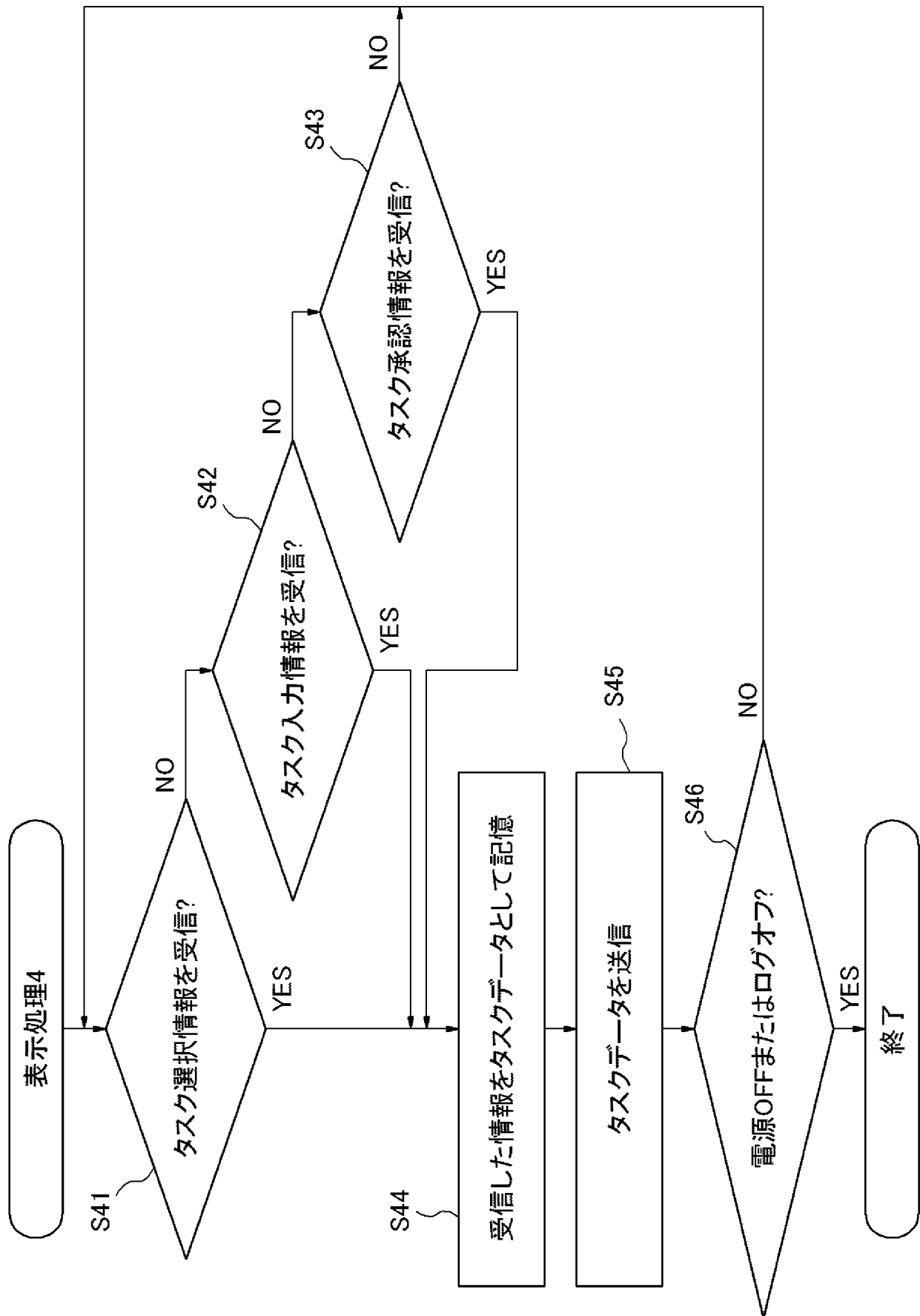
[図9]



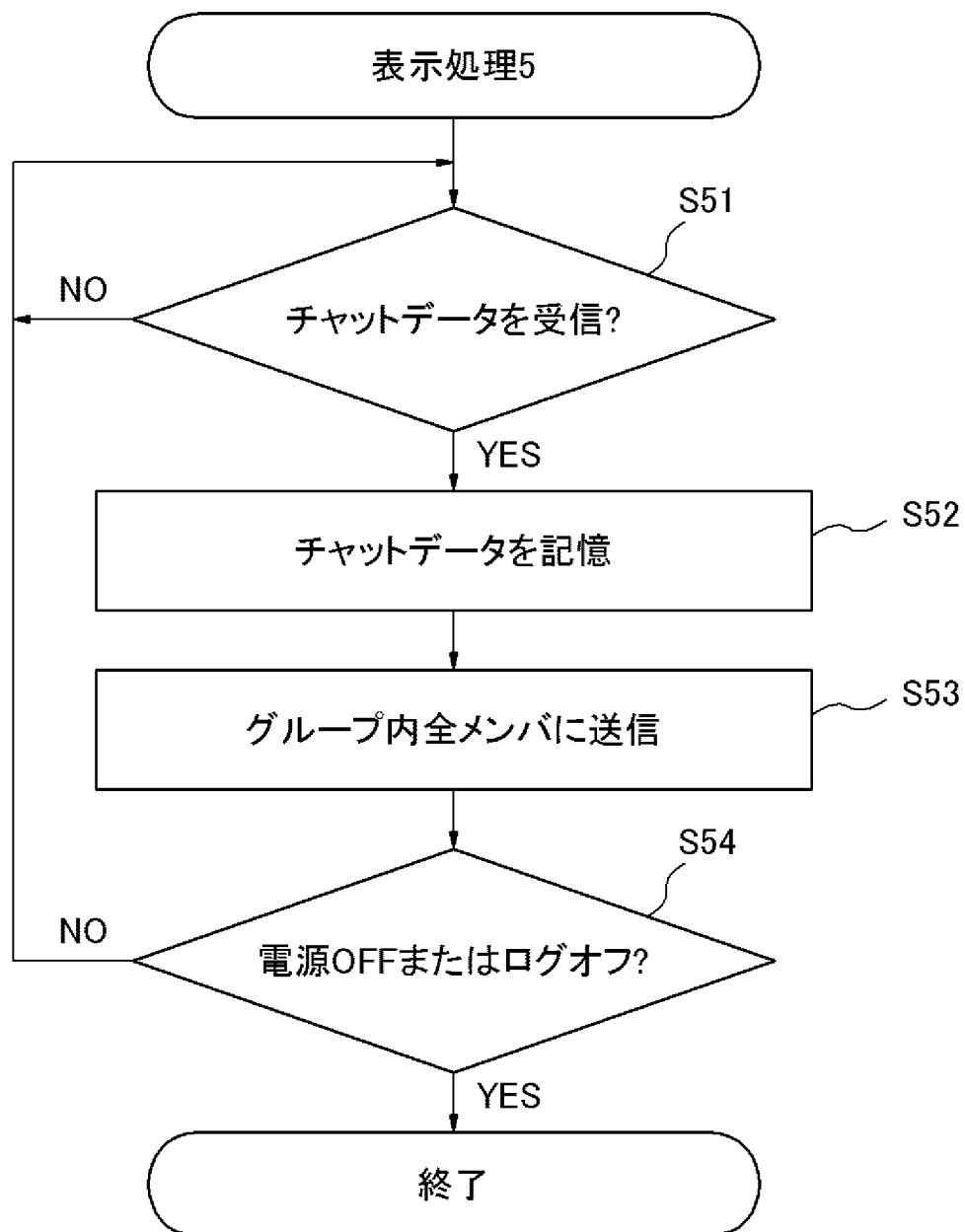
[図10]



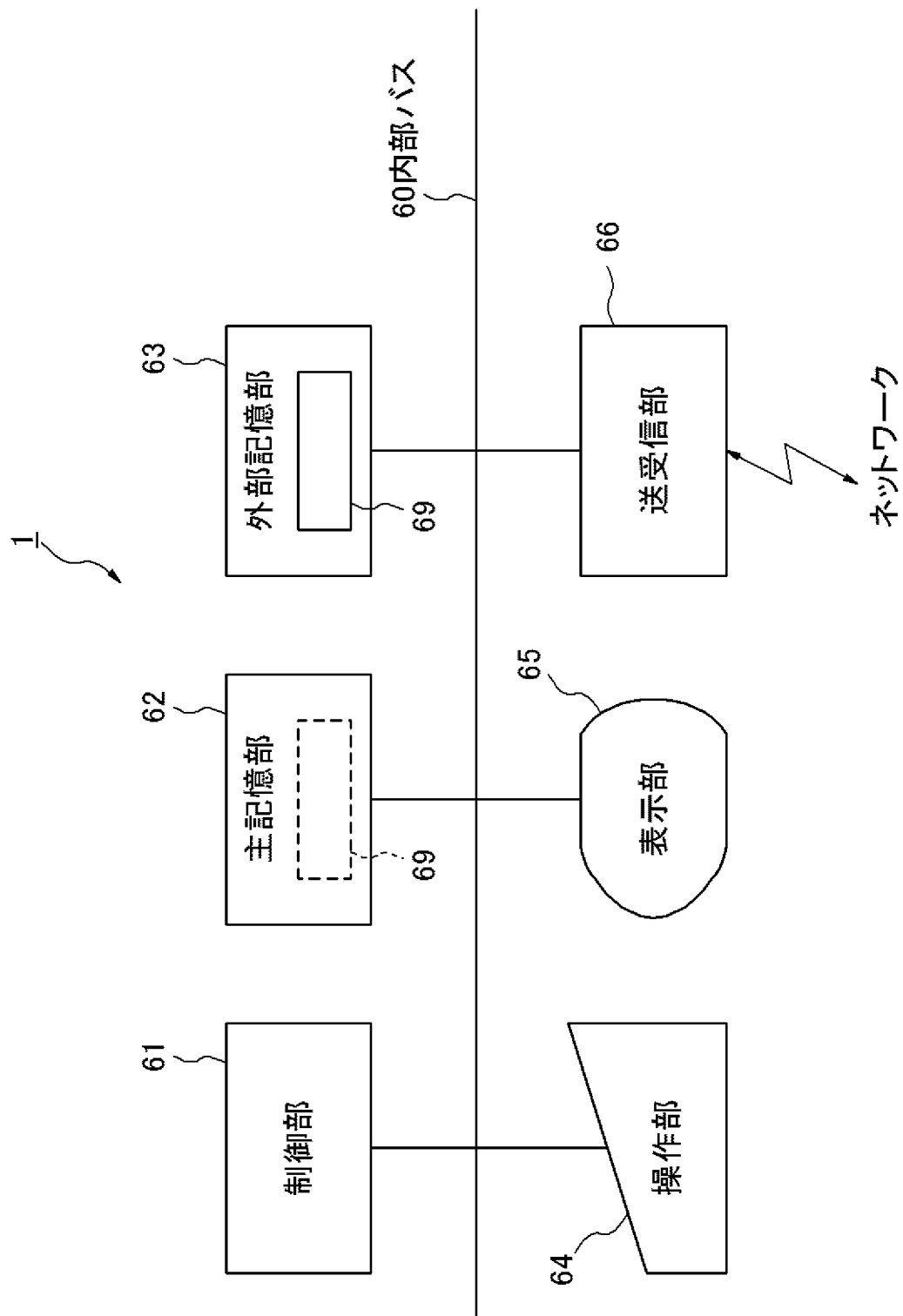
[図11]



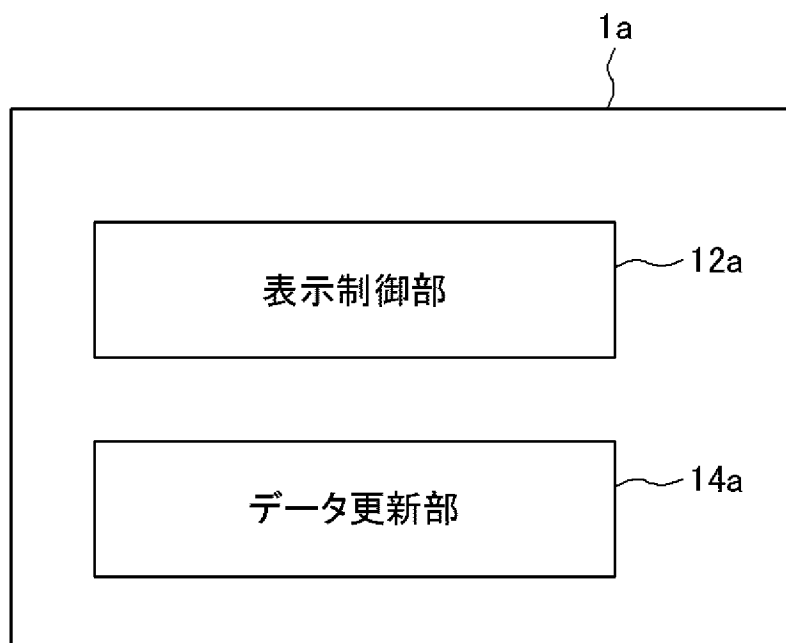
[図12]



[図13]



[図14]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2015/000134

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

G06Q10/00(2012.01) i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

G06Q10/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2015
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2015	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2015

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 2009-187044 A (NEC Corp.), 20 August 2009 (20.08.2009), particularly, paragraphs [0012] to [0017] (Family: none)	1-6
A	JP 2004-334261 A (Netman Co., Ltd.), 25 November 2004 (25.11.2004), particularly, paragraph [0010] (Family: none)	1-6
A	US 2013/0031487 A1 (SALESFORCE.COM, INC.), 31 January 2013 (31.01.2013), particularly, abstract (Family: none)	1-6

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
03 April 2015 (03.04.15)

Date of mailing of the international search report
14 April 2015 (14.04.15)

Name and mailing address of the ISA/
Japan Patent Office
3-4-3, Kasumigaseki, Chiyoda-ku,
Tokyo 100-8915, Japan

Authorized officer

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2015/000134

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	Hideo KOBAYASHI, "Shanai SNS de Kigyoryoku Up", Telecommunication, 25 April 2010 (25.04.2010), vol.27, no.5, pages 36 to 41	1-6

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（I P C））

Int.Cl. G06Q10/00(2012.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（I P C））

Int.Cl. G06Q10/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2015年
日本国実用新案登録公報	1996-2015年
日本国登録実用新案公報	1994-2015年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
A	JP 2009-187044 A（日本電気株式会社） 2009.08.20, 特に段落 12-17（ファミリーなし）	1-6
A	JP 2004-334261 A（株式会社ネットマン） 2004.11.25, 特に段落 10（ファミリーなし）	1-6
A	US 2013/0031487 A1（SALESFORCE.COM, INC.） 2013.01.31, 特に要約（ファミリーなし）	1-6

☒ C 欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの

「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの

「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）

「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献

「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

03.04.2015

国際調査報告の発送日

14.04.2015

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁（I S A/J P）

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官（権限のある職員）

大野 朋也

5 L

4534

電話番号 03-3581-1101 内線 3562

C（続き）． 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
A	小林 秀雄，社内SNSで企業力アップ，テレコミュニケーション， 2010.04.25，第27巻 第5号，pp.36-41	1-6